2 291
72

三重高等農林學校一覽

昭和十四年度

校舍全景

實驗農場

校歌

一

み空のみどり樹のみどり　波のみどりの國原に
いましめかはし睦みあひ　つどへるわれら健男兒

二

林につちに秘めらるゝ　自然の富を拓くべき
天の使命は重けれど　われらの誇こゝにあり

三

明けゆく伊勢の海原に　のぞむ希望の陽の光
暮るゝ鈴鹿の山の上に　仰ぐ理想の星の影

四

研鑽思索實習に　刻苦の月日かさぬれど
用ふるまゝにいよゝ湧く　われらの力人も知れ

五

八咫の御鏡八束稻　神の威靈はいたゞけり
國の基をうち堅め　ゆるぎはさせじ秋津島

三重高等農林學校一覽

昭和十四年度

目次

第一　沿革　一頁
第二　法令　二〇
一、文部省直轄諸學校官制（抄）　二〇
二、文部省直轄諸學校職員定員令（抄）　二二
三、實業學校令（抄）　二二
四、專門學校令（抄）　二三
五、實業學校卒業者ノ專門學校入學ニ關スル件（抄）　二三
六、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定（抄）　二三
七、文部省直轄學校外國人特別入學規程（抄）　二三
八、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件　二四

發行所寄贈本

291
72

目次

九、三重高等農林學校規程
十、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件
第三　學年暦
第四　規則
一、三重高等農林學校規則
二、三重高等農林學校農村工業實科規程
第五　細則
一、事務規程
二、物品會計細則
三、圖書館規程
四、農林博物館規程
五、農場規程
六、植物園規程
七、總代規程
八、學生制服規程
九、寄宿舍規程
十、寄宿料規程
十一、授業料徴收規程
十二、校旗規程
十三、通學生規程
十四、非常警備及手配規程
十五、防空處置規程
十六、外國人特別入學細則
第六　職員
第七　學生
一、學生氏名

目次

二、學生數　一四
三、地方別學生數　一四
第八　卒業生　一五
一、卒業生氏名　一五
二、卒業生年度別數　一五
三、卒業後ノ狀況　一八
四、卒業生地方分布ノ狀況　一九
第九　敷地、建物　一九
附錄　一九
三重高等農林學校校友會規則　一九
三重高等農林學校校友會基本金規則　二〇
三重高農同窓會會則　二〇
建物配置圖　二四

第一　沿革

大正八年政府ハ高等教育機關創設及擴張ノ計畫ヲ樹テ第四十一帝國議會ノ協賛ヲ經其ノ一トシテ高等農林學校ヲ三重縣下ニ設置スルニ決シ八年九月位置ヲ津市上濱町ニ定メ次テ敷地ノ買收竝地上工事ニ着手シ十年三月其ノ工ヲ終フ之ヨリ先三重縣ハ本校設置ノ議オルヤ聞クヤ大正八年七月臨時縣會ヲ開キ創立費ニ對シ四拾四萬五千圓ヲ政府ニ寄附スルコトヲ議決シ九年三月其ノ手續ヲ了ス大正十年八月本館其ノ他附屬校舍ノ新築工事ニ着手ス爾來沿革ノ大要ヲ擧クレハ左ノ如シ

大正十年

十二月十日　勅令第四百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ヲ加ヘ本校ノ設置ヲ公布セラル

同月同日　勅令第四百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正ヲ加ヘ本校ノ職員定員ヲ校長一人、教授五人、助教授二人、書記四人ト定メラル

同月同日　文部事務官兼東京高等師範學校教授上原種美本校校長兼文部事務官ニ

任セラル

十二月廿二日　文部省告示第五百七號ヲ以テ本校ノ位置ヲ三重縣津市上濱町ニ定メ大正十一年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セラル

同月同日　文部省告示第五百十二號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ文部省修文館ニ於テ事務ヲ開始ス

同月廿五日　雨天體操場及本館附屬建物新築竣工ス

大正十一年

一月十二日　文部省令第一號ヲ以テ本校規程ヲ公布セラル

同月十六日　本校規則ヲ制定ス

同月十七日　文部省告示第十一號ヲ以テ實業學校卒業者(但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校卒業者ニシテ志望學科ト同種類ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル)ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラル

三月一日　校章ヲ制定ス

同月十四日　文部省告示第百六十三號ヲ以テ本校ノ事務ハ三月十六日ヨリ三重縣津市上濱町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ雨天體操場ヲ以テ臨時事務所ニ充ツ

四月一日　大正十一年度入學志願者三百二十名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月五日　本館新築工事完成シ雨天體操場ヨリ事務所ヲ移轉ス

同月八日　寄宿舍竝其ノ附屬建物新築竣工ス

同月十二日　校長上原種美兼文部事務官ヲ免セラレ學校長專任トナル

同月二十日　事務規程ヲ制定ス

同月廿二日　第一回入學式ヲ擧行ス

同月廿五日　始業式ヲ擧行ス

同月廿六日　授業ヲ開始ス

同月廿九日　勅令第二百四十二號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ九人ニ、助教授二

人ヲ七人ニ改正セラル

五月十日　本校實驗農場初耕式ヲ擧行ス

七月二日　鎌田文部大臣來校視察セラル

同月廿七日　學級總代規程ヲ制定ス

九月二日　授業料徴收規程ヲ制定ス

同月十一日　學生制服規程ヲ制定ス

同月十三日　寄宿舍規程ヲ制定ス

同　日　寄宿料規程ヲ制定ス

同月十四日　通學生規程ヲ制定ス

十月三日　教育ニ關スル勅語謄本及戊申詔書謄本ヲ下賜セラル

十一月四日　皇后陛下宇治山田市ヘ　行啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉迎ス

同月七日　皇后陛下宇治山田市ヨリ　還啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉送ス

十二月廿八日　養蠶室及農場建物新築竣工ス

大正十二年

一月卅一日　非常警備及手配規程ヲ制定ス

二月廿八日　實驗室新築竣工ス

三月廿八日　運動場工事竣工ス

同月三十日　大正十二年度入學志願者四百六十六名中ヨリ農學科農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

四月十二日　第三回入學式ヲ擧行ス

同月廿一日　物品會計細則ヲ制定ス

五月八日　勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中教授九人ヲ十五人ニ、助教授七人ヲ十人ニ、書記四人ヲ五人ニ改正セラル

大正十三年

一月廿六日　皇太子殿下御成婚ノ禮ヲ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ擧行ス

二月廿三日　皇太子殿下竝　同妃殿下　神宮御參拜ノ爲御來縣ニ付職員學生一同津驛ニ奉迎ス

同月廿四日　皇太子殿下竝　同妃殿下御來縣ニ付上原校長御機嫌ヲ奉伺ス

二月廿五日　皇太子殿下竝　同妃殿下還啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉送ス

三月三十日　講堂、畜舍其ノ他五棟新築竣工ス

四月一日　大正十三年度入學志願者二百八十三名中ヨリ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第三回入學式ヲ擧行ス

五月十六日　勅令第百三十三號ヲ以テ本校職員定員中教授十五人ヲ十八人ニ、助教授十人ヲ十二人ニ、書記五人ヲ六人ニ改正セラル

六月二十日　圖書館、書庫、武道場、農業機械室其ノ他五棟新築竣工ス

八月十五日　酪農室、燻蒸室外二棟新築竣工ス

同月十九日　實驗農場ハ從來灌漑、排水ノ便ヲ缺キ加フルニ鹽害亦尠カラサリシヲ以テ耕地ノ根本的整理改良ヲ企テ本年三月二十三日其ノ工事ニ着手灌漑、排水、電動裝置外十六點ノ施設ヲ竣成ス

十月十日　校歌ヲ作定ス

同月廿六日　中橋前文部大臣來校視察セラル

十一月一日　本校開校式ヲ擧行ス岡田文部大臣、柴垣文部省建築課長、荒木京都帝國大學總長、山岡三重縣知事、三條西神宮大宮司其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ爾來此日ヲ以テ本校記念日ト定ム

同月二日　第一回陸上運動會ヲ擧行ス

同月十一日　乾繭室、羊舍、鷄舍、豚舍外二棟新築竣工ス

同月三十日　高橋農商務大臣來校視察セラル

十二月四日　本校規則中入學ニ關スル項ヲ改正ス

同月六日　特別研究室新築竣工ス

同月十七日　圖書館規程ヲ制定ス

同月二十日　官舍四棟及附屬建物新築竣工ス

同月三十日　蠶種貯藏庫、作物栽培實驗室、簡易堆肥及水肥舍新築竣工ス

大正十四年

一月廿二日　文部省告示第十二號ヲ以テ本校卒業者ハ農學科ニ在リテハ農業、動物又ハ植物、農業土木學科ニ在リテハ數學ニ關シ中等學校教員無試驗檢定ヲ

受クルコトヲ得ルモノト指定セラル

二月十五日　本校所屬演習林トシテ三重縣一志郡八幡村所在平倉國有林四百五十七町八反六畝八歩ヲ農商務省ヨリ移管ヲ受ク

同月十八日　農產製造室、林產製造室、飼料室新築竣工ス

同月廿七日　本校內ニ三重縣立實業教員養成所ヲ設置ス

三月十四日　温室新築竣工ス

同月十七日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十八名、農業土木學科二十八名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿三日　本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス

同月卅一日　本校正門前ノ土地八百十二坪ヲ購入シ見本植物園ヲ設置ス

四月一日　大正十四年度入學志願者三百六十一名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同　日　勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授十二人ヲ十一人ニ改正セラル

同月十五日　第四回入學式ヲ擧行ス

五月十日　天皇　皇后兩陛下御結婚滿二十五年御祝典ヲ執リ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ擧行ス

同月廿七日　文部省令第二十七號ヲ以テ本校規程中各學科ノ學科目及其ノ程度ニ改正ヲ加ヘラル

同　日　本校規則中同上

大正十五年

三月十七日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十四名、農業土木學科二十五名及林學科三十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科二名、農業土木學科選科一名及林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　大正十五年度入學志願者四百四十五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第五回入學式ヲ擧行ス

十一月十一日　本日ヨリ三日間ニ亘リ文部省社會教育課ニ於テ本校實驗農場其ノ他ノ諸施設ヲ撮影シ活動映畫ヲ作ル

十二月四日　聖上陛下　御惱御平癒祈願式ヲ擧行シ式後上原校長竝職員學生各代表伊勢神宮ニ參拜御平癒祈願ヲ爲ス

昭和元年

十二月廿五日　天皇陛下　崩御アラセラレタルニ付奉悼式ヲ擧行ス

昭和二年

二月三日　演習林寄宿舍新築竣工ス

同月七日　大正天皇御大喪儀ニ付遙拜式ヲ擧行ス上原校長ハ上京勅任官簿內奉送ヲ爲シ職員竝學生各總代ハ勅任官簿ヲ奉送ス

同月十四日　今上天皇陛下朝見ノ儀ニ於テ賜ハリタル　勅語ノ奉讀式ヲ擧行ス

三月十七日　第三回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十七名農業土木學科三十一名及林學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿二日　本校實驗農場續キノ土地千百六十坪餘ヲ買收シテ花卉園ヲ擴張ス

同月卅一日　固定温床新築竣工ス

同　日　外國人特別入學細則ヲ制定ス

四月一日　昭和二年度入學志願者五百十二名中ヨリ農學科四十六名農業土木學科四十二名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第六回入學式ヲ擧行ス

五月十二日　三土文部大臣來校視察セラル

九月十二日　水野文部大臣來校視察セラル

十一月十四日　上原校長歐米各國ヘ出張ヲ命セラル

十二月廿七日　勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正本校職員定員中ニ助手二人ヲ加ヘラル

昭和三年

一月十六日　校長上原種美歐米各國ヘ出張不在中教授增淵次助校長代理ヲ命セラル

同月十八日　上原校長歐米視察ニ出發ス

三月十七日　第四回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十六名、農業土木學科三十名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月二十日　藥品庫增築竣工ス

同月廿八日　有毒瓦斯處理室新築竣工ス

四月一日　昭和三年度入學志願者六百四十四名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十一名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月九日　本校規則第一條ヲ改正ス

四月十五日　第七回入學式ヲ擧行ス

十月廿九日　勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「生徒主事補」ヲ加ヘラル

十一月十日　御即位禮奉祝式ヲ擧行ス

同　日　御大禮記念御眞影奉安殿地鎭祭ヲ擧行ス

同月十五日　天皇　皇后兩陛下　神宮御親謁ノ爲　行幸啓在ラセラレ本校生產ノ果實ヲ獻上ス

同月十九日　天皇　皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎ス

同月二十日　天皇　皇后兩陛下神宮御親謁ノ際職員學生一同鹵簿ヲ奉拜ス

十一月廿二日　天皇　皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉送ス

十二月十二日　上原校長歐米ノ視察ヲ了ヘ歸朝ス

同月十三日　上原校長歸朝ニ付增淵敎授校長代理ヲ免セラル

昭和四年

三月十六日　第五回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十二名、農業土木學科三十名及林學科廿三名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿八日　本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス

四月一日　昭和四年度入學志願者六百八十六名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十二名及林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第八回入學式ヲ擧行ス

五月九日　天皇陛下　神宮御親謁ノ爲昨秋　行幸ノ御砌特別ノ御思召アラセラレタルニ依リ本校栽植ノ伊勢菊苗六十種中ヨリ四十種ヲ選ヒ獻上ス

同月十日　校旗規程ヲ制定ス

同月十七日　校旗上成式ヲ擧行ス

六月五日　天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生々徒等御親閲ニ付本校學生百二十名教官引率シ分列部隊ニ參加御親閲ノ光榮ニ浴シ上原校長御親閲場ニ參列シ分列式ヲ陪觀ス

十月二日　神宮式年御遷宮執リ行ハセラルルニ付奉拜式ヲ擧行ス

上原校長　皇大神宮御遷宮式ニ參列又學生代表八十名職員引率シ神域內ニ於テ之ヲ奉拜ス

同月五日　豐受大神宮御遷宮式執リ行ハセラルルニ付學生代表九十名職員引率シ神域內ニ於テ奉拜ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付校內ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月十四日　農業工學實驗室新築竣工ス

十二月五日　態澤一衞氏寄附ニ係ル御大禮記念　御眞影奉安殿新築竣工ス

昭和五年

二月七日　高松宮殿下御結婚奉告ノ爲御參宮ニ付上原校長及職員津驛ニ奉迎送ヲ爲ス

三月十六日　第六回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十八名、農業土木學科三十三名及林學科三十六名ニ卒業證書ヲ、林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　昭和五年度入學志願者九百三十三名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十一名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第九回入學式ヲ擧行ス

同月廿一日　本校々友會寄附ニ係ル弓道場竣工ス

十月十日　本日及十一日關西農業學校長會議ヲ開催ス

同月十四日　天皇陛下　皇后陛下ノ　御眞影ヲ下賜セラル

同月十五日　御眞影拜戴式ヲ擧行ス

同月三十日　教育ニ關スル勅語渙發滿四十年記念式ヲ擧行ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校內ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月十五日　本校演習林內ニ平倉神社ヲ建設シ鎭座祭ヲ擧行ス

昭和六年

二月五日　曩ニ御下賜ノ　天皇陛下　皇后陛下　御眞影ヲ拜戴ス

三月十五日　第七回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十九名、農業土木學科三十五名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ、外國人特別生一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月卅一日　熱帶植物温室竣工ス

四月一日　昭和六年度入學志願者七百九十八名中ヨリ農學科四十四名農業土木學科四十五名及林學科四十四名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第十回入學式ヲ擧行ス

六月廿六日　農場規程ヲ制定ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

昭和七年

一月三十日　土壤作業室新築竣工ス

二月廿九日　校族規程中族手任命ニ關スル規定ヲ改正ス

三月十五日　第八回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十九名、農業土木學科三十五名及林學科三十五名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿八日　更衣室新築竣工ス

四月一日　昭和七年度入學志願者千六百十六名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十三名ノ入學ヲ許可ス

同　日　學生制服規程中作業服ノ制式ヲ改正ス

同　日　第十一回入學式ヲ擧行ス

同月廿六日　三重高農拓殖研究會ヲ設立ス

同月廿一日　滿洲國語及滿蒙事情ニ關スル講座ヲ新設シ本校學生ノ外之ヲ一般ニ公開ス

六月一日　本校規則中授業料減免ニ關スル規定ヲ改正ス

九月十五日　學生健康相談所ヲ新設ス

同月三十日　銃器室及物置ノ新築、武道場ノ增築竣工ス

十月九日　本校々友會寄附ニ係ル記念プール竣工ス

十一月一日　本校開校十周年記念式ヲ擧行ス文部大臣代理菊池實業學務局長、農林大臣代理大島農林技師、京都及北海道兩帝國大學總長代理、官公私立高等專門學校長三十名、廣瀨三重縣知事、其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ右記念式ニ引續キ十年勤續職員表彰式、記念プール」寄贈式、記念同窓會館寄贈式ヲ擧行ス

十一月二日　記念祝典行事トシテ農業、林業及農業土木、農業機械、滿蒙產業、校勢、實業補習教育ニ關スル各展覽會、活動寫眞、音樂會、本校生產品即賣、角力大會等ヲ開催校內ヲ一般ニ公開シ又夜間記念講演會ヲ開ク

同月三日　前日同樣各種祝典行事ヲ催シ校內ヲ一般ニ公開シ又柔道、劍道、庭球、弓道「ラグビー」ノ大會ヲ開ク

同月四日　校內公開ヲ特ニ一日延期シ前日同樣各種展覽會ヲ開キ一般ノ參觀ニ供ス

同月五日　記念祝典ノ一行事トシテ上原校長、職員總代、各學科各學年總代及卒業生總代同伴　伊勢神宮ヘ參拜奉告竝祈願ヲ爲ス

同月十六日　天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生々徒等御親閱ニ付本校學生六十三名教官引率分列部隊ニ參加御親閱ノ光榮ニ浴ス

十二月廿七日　勅令第三百九十五號ヲ以テ本校職員定員中助教授十一人ヲ十人ニ、助手二人ヲ一人ニ改メラル

昭和八年

三月十五日　第九回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十五名、農業土木學科三十九名及林學科二十八名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科二名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　昭和八年度入學志願者一千七名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十三名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第十二回入學式ヲ擧行ス

同月廿八日　文部省告示第二百三號ヲ以テ本校內ニ第二拓殖訓練所ヲ開設セラレ上原校長所長ノ事務ヲ委任セラル

六月一日　拓殖訓練所入所志願者百十七名中ヨリ三十九名ノ入所ヲ許可ス
同月十一日　拓殖訓練所ノ授業ヲ開始ス
六月十八日　拓殖訓練所開所式ヲ擧行ス
十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス
同月十日　國民精神作興ニ關スル詔書渙發十周年記念式ヲ擧行ス
十二月廿三日　皇太子殿下御降誕ニ付奉祝式ヲ擧行ス

昭和九年

二月十一日　皇太子殿下御降誕ヲ記念スル爲職員學生一同植樹ヲ爲ス
三月一日　自動車々庫增築竣工ス
同月四日　大農具室新築竣工ス
同月六日　李王殿下台臨御視察アラセラレ記念御植樹遊ハサル
同月九日　拓殖訓練所入所志願者百二十名中ヨリ三十七名ノ入所ヲ許可ス
同月十五日　第十回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科三十九名ニ卒業證書ヲ授與シ次テ拓殖訓練所第一回修了證書授與式ヲ擧行シ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科三十九名ニ修了證書ヲ授與ス
同月廿五日　拓殖訓練所第一回修了生神戸港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク
同月廿九日　本館敷地南部ノ接續地三千三百四十九坪ヲ購入シ果樹園、促成栽培圃及植物見本園ヲ擴張ス
四月一日　昭和九年度入學志願者千四百四十七名中ヨリ農學科四十名、農業土木學科四十名、林學科三十九名ノ入學ヲ許可ス
同月十六日　第十三回入學式ヲ擧行ス
同月廿五日　拓殖訓練所第二回入所式ヲ擧行ス
十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

昭和十年

二月十六日　拓殖訓練所寄宿舍ノ新築竣工ス
三月十五日　第十一回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科四十名、農業土木學科四十名、林學科三十五名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第二回修了證書授與式ヲ擧行シ三十二名ニ修了

同月三十日　證書ヲ授與ス

養蠶室ノ改築、昆蟲飼育實驗室、孵卵器室ノ新築及圖書閱覽室ノ增築何レモ竣工ス

四月一日　昭和十年度入學志願者一千百五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十名、林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス

同月二日　昭和十年度拓殖訓練所入所志願者百十一名中ヨリ四十一名ノ入所ヲ許可ス

同月十三日　第十四回入學式ヲ擧行ス

同月廿二日　拓殖訓練所第三回入所式ヲ擧行ス

九月廿六日　拓殖訓練所第二回修了生敦賀港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク

十月十八日　松田文部大臣來校視察セラル

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月廿三日　新嘗祭ヲトシ尊農祭ヲ擧行ス

十二月四日　客月二十八日御降誕ノ親王殿下御命名式ヲ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ擧行ス

同月五日　拓殖訓練所農具室新築竣工ス

昭和十一年

二月十五日　農林博物館新築竣工ス

三月十五日　第十二回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十六名、農業土木學科三十七名、林學科三十七名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第三回修了證書授與式ヲ擧行シ三十五名ニ修了證書ヲ授與ス

同月卅一日　昭和十一年度入學志願者一千五百四名中ヨリ農學科四十名、農業土木學科三十七名、林學科四十三名ノ入學ヲ許可ス

外國人特別入學規程ニ依ル志願者二十三名中ヨリ滿洲國人農學科ヘ三名、林學科ヘ一名、中華民國人農業土木學科ヘ一名入學ヲ許可ス

四月十日　拓殖訓練所入所志願者百二十四名中ヨリ四十一名ノ入所ヲ許可ス

同月廿五日　第十五回入學式ヲ擧行ス

六月十三日　本校事務規程中改正ヲ加ヘ且農林博物館規程竝植物園規程ヲ制定ス
同月廿三日　拓殖訓練所第三回修了生下關港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク
同月廿七日　御田植祭ヲ行フ
九月廿四日　本校開校十周年記念トシテ本校同窓會ノ寄附ニ係ル三翠會館新築竣工ス
十月十四日　本日及十五日全國農業專門學校長協議會ヲ開催ス
十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス
同月廿三日　尊農祭ヲ擧行ス
十二月廿八日　防空處置規程ヲ制定ス

昭和十二年

二月三日　農產加工室新築竣工ス
同月廿五日　拓殖訓練所規則ノ一部ヲ改定ス
三月十五日　第十三回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科四十一名、農業土木學科四十一名、林學科三十五名ニ卒業證書ヲ授與シ選科農學科二名、農業土木學科三名、林學科二名ニ修了證書ヲ授與ス次ヲ拓殖訓練所第四回修了證書授與式ヲ擧行シ三十三名ニ修了證書ヲ授與ス
同月十七日　拓殖訓練所收納室新築竣工ス
四月一日　昭和十二年度入學志願者一千四百三十九名中ヨリ農學科四十名、農業土木學科四十一名、林學科四十一名ノ入學ヲ許可ス
同月十二日　第十六回入學式ヲ擧行ス
六月一日　拓殖訓練所入所志願者四十七名中ヨリ三十一名ノ入所ヲ許可ス
同月五日　皇太后陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎ス
同月六日　皇太后陛下宇治山田市ニ御駐泊ニ付上原校長　御機嫌ヲ奉伺シ同日拜謁ヲ賜ハル
同月八日　皇太后陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉送ス
六月廿五日　御田植祭ヲ行フ
七月二十日　官舍物置新築竣工ス
八月四日　勅令第三百八十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正本校職

員ノ各項中生徒主事及生徒主事補ノ各欄ニ一人ヲ加ヘラル

同月十日　農林博物館增築竣工ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行ス

同月廿三日　尊農祭ヲ擧行ス

十二月十三日　拓殖訓練所規則ノ一部ヲ改定ス

昭和十三年

三月十五日　第十四回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十九名、農業土木學科三十一名、林學科四十一名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第五回修了證書授與式ヲ擧行シ十九名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　昭和十三年度入學志願者千六百四十八名中ヨリ農學科四十三名、農業土木學科四十二名、林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス

同月六日　拓殖訓練所入所志願者二百二十三名中ヨリ三十九名ノ入所ヲ許可ス

同月七日　文部省令第十一號ヲ以テ本校規程中改正ヲ加ヘ本校ニ農村工業實科ヲ設置セラル

同　日　本校規則中農村工業實科ニ關スル內規ヲ制定ス

同　日　農村工業實科規程ヲ制定ス

同月十二日　第十七回入學式ヲ擧行ス

同月廿五日　農村工業實科生徒制服ニ關スル規定ヲ加フ

同　日　農村工業實科入學志願者百三十八名中ヨリ三十三名ノ入學ヲ許可ス

同月廿七日　本校事務規程中農村工業實科ニ關スル規定ヲ加フ

五月二日　農村工業實科ノ授業ヲ開始ス

六月二十日　本日ヨリ五日間拓殖訓練所ニ於テ文部省主催集團勤勞作業指導者講習會ヲ開ク

同月廿一日　御田植祭ヲ行フ

同月廿一日　本日ヨリ七日間本校竝拓殖訓練所職員生徒全員集團勤勞作業ヲ行フ

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行ス

同月廿三日　尊農祭ヲ擧行ス

昭和十四年

三月十五日　本科第十五回、農村工業實科第一回、拓殖訓練所第六回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科農學科三十八名、農業土木學科三十六名、林學科三十八名ニ卒業證書ヲ、農村工業實科二十九名、拓殖訓練所三十名ニ修了證書ヲ授與ス

三月廿七日　昭和十四年度入學志願者千五百九十三名中ヨリ農學科四十七名、農業土木學科四十五名、林學科四十三名ノ入學ヲ許可ス

三月卅一日　校長上原種美東京農業教育專門學校長ニ轉任、教授高橋隆道校長ニ任セラル

四月十一日　農村工業實科入學志願者七十三名中ヨリ三十五名ノ入學ヲ許可ス

四月十二日　拓殖訓練所入所志願者百三十名中ヨリ四十名ノ入學ヲ許可ス

四月十九日　第十八回入學式ヲ擧行ス

四月廿七日　第七回拓殖訓練所入所式ヲ擧行ス

五月廿二日　天皇陛下宮城前廣場ニ於テ青少年學徒竝ニ教職員等ヲ御親閲ニ付本校學生十名教官引率シ分列部隊ニ參加御親閲ノ光榮ニ浴シ高橋校長御親閲場ニ參列シ分列式ヲ陪觀ス

六月廿四日　御田植祭ヲ行フ

七月廿一日　本日ヨリ七日間本校竝拓殖訓練所職員生徒全員集團勤勞作業ヲ行フ

第二　法令

一、文部省直轄諸學校官制（抄）

（明治二十六年八月勅令第八十六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京女子高等師範學校　奈良女子高等師範學校　東京農業教育專門學校　盛岡高等農林學校
東京高等蠶絲學校　上田蠶絲專門學校　京都高等蠶絲學校
鹿兒島高等農林學校　宇都宮高等農林學校　岐阜高等農林學校
鳥取高等農業學校　三重高等農林學校
宮崎高等農林學校　千葉高等園藝學校
東京高等農林學校　（以下省略）

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　教授　助教授　書記　生徒主事　生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十條ノ三　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校職員定員令（抄）

（大正十年十二月勅令第四百五十七號）

文部省直轄諸學校專任書員ノ定員左ノ如シ

三重高等農林學校

校長一人　教授十八人　助教授十人　助手一人　書記六人　生徒主事一人　生徒主事補一人

三、實業學校令（抄）

（大正九年十二月勅令第五百六十四號改正）

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

四、專門學校令（抄）

（明治三十六年三月勅令第六十一號）

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術、音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條　第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

五、實業學校卒業者ノ專門學校入學ニ關スル件（抄）

（大正十三年三月十二日文部省告示第百九號）

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、男子實業學校卒業者

但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

六、公立私立學校職員タルコトヲ得ル者ノ指定（抄）

（大正八年七月八日文部省告示第百九十二號）

明治四十年文部省令第二十八號公私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指示スルコト左ノ如シ

一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ

官立公立實業專門學校本科卒業者

七、文部省直轄學校外國人特別入學規程（抄）

（明治三十四年十一月十一日文部省令第十五號）

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ
第三條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第四條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ
第五條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得
第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

八、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件　（明治四十四年四月文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

九、三重高等農林學校規程　（大正十一年一月十二日文部省令第一號）

第一條　三重高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス
第二條　三重高等農林學校ノ學科ハ農學科、農業土木學科及林學科トス
第三條　三重高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ毎週教授時數ヲ增減シ又休業期間ニ於テ實習實驗ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

（學科課程省略）

第四條　本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得
第五條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得
第六條　三重高等農林學校ニ農村工業實科ヲ置ク
第七條　農村工業實科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

十、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件　（大正十四年一月二十二日文部省告示第十二號）

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目中左ノ通改正ス

鳥取高等農業學校ノ次ニ左ノ如ク加フ

三重高等農林學校	農業	
	農學科	動物（特別講義及實驗ニ於テ動物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル）
		植物（特別講義及實驗ニ於テ植物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル）
	農業土木學科	數學（當該科目成績優等ナル者ニ限ル）

第三學年曆

四月一日　學年始第一學期始
同月三日　神武天皇祭
同月五日　春季休業終
同月六日　第一學期授業始
同月廿九日　天長節
七月二十日　第一學期授業終
同月廿一日　夏季休業始
八月卅一日　第一學期終
九月一日　第二學期始
同月十日　夏季休業終
同月十一日　第二學期授業始
秋分日　秋季皇靈祭
十月十七日　神嘗祭

十一月一日　本校記念日
同月三日　明治節
同月廿三日　新嘗祭
十二月廿四日　第二學期授業終
同月廿五日　大正天皇祭冬季休業始
同月卅一日　第二學期終
一月一日　四方拜第三學期始
同月十日　冬季休業終
同月十一日　第三學期授業始
二月十一日　紀元節
春分日　春季皇靈祭
三月廿四日　第三學期授業終
同月廿五日　春季休業始
同月卅一日　第三學期終學年終

第四 規則

一、三重高等農林學校規則　（大正十一年一月十六日制定）

第一章 總則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林及農業土木ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授シ併セテ人格ヲ陶冶シ國體觀念ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條　本校ニ農學科、農業土木學科及林學科ヲ置ク

第三條　各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條　本校ニ研究生、選科生及農村工業實科ヲ置クコトアルヘシ

研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

農村工業實科ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 學科目及其ノ程度

第五條　各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ毎週教授時數ヲ增減スルコトアルヘシ

農學科

學科目＼學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	四	三	三	二	二	二
物理學及氣象學	二	二	二	二	二	二	一	一	一
化學及分析	三	三	三	三	三	一（三）	二	二	二
動物學及昆蟲學	三	三（二）	二（二）	二	二	二	二	二	二
植物學及植物病理學	四（二）	四	四（二）	一（二）	一（二）	二（二）	二	二	二
鑛物學及地質學	三	二	二	二	二	二	二	二	二
作物學及育種學	二	二	二	二	二	二	二	二	二
養蠶學	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	（不定時）			（不定時）	（不定時）				

園藝學			二	二	二	二	二	二	
畜産學				二	二	二	二	二	二
實驗遺傳學					二	二			
土壤學及肥料學		二	二	二	二				
農具論	二	一							
農業工學						二	二	二	二
農産製造學						二	二	二	三
農業經營學				三	三	三			
農政學							二	二	二
經濟學				二	二	二			
法學通論							二	二	二
植物榮養論							（二）	（二）	
家畜榮養論								（二）	（二）
應用菌學							（三）		
林學大意							（二）	（二）	（三）
獸醫學大意							（二）	（二）	（二）
行政法大意							（二）	（二）	
財政學							（二）	（二）	
植民政策							（二）	（二）	
教育學							（二）	（一）	
獨逸語							（三）	（三）	（三）
特別講義及實驗							（七）	（七）	（三）
合計	二八（二）（不定時）	二八（二）	二八（四）	二七（五）（不定時）	二七（五）（不定時）	二六（三）	一九（七）（二〇）	一九（七）（一八）	一六（三）（二〇）
農學實驗及實習（回數）				一	二	四	三	三	三
農場實習（回數）	四	四	四	三	三	三	二	二	二

農業土木學科

每週教授時數

學科目 ＼ 學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	一	一	一
英語	四	四	四	三	三	三	一	一	一
數學	六	六	六	三	三	三	一	一	一
物理學及氣象學	四	四	四						
植物學及植物生理學	三	三	三						
鑛物學及地質學	三	二	二						
化學	二	二							
幾何畫	二	二							
應用力學		二	二	三	三	三			
應用水理學									
測量學	四	四	四	二	二	二			

學科目 ＼ 學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
材料及施工法							一	一	一
道路及橋梁							一	一	一
農業水利學							一	一	一
耕地整理論							一	一	一
農業機械學							一	一	一
原動機及揚水機							一	一	一
作物學			二						
園藝學									
土壤學及肥料學			二						
農業經營學									
農政學									
農業土木法規									
經濟學									
法學通論									
設計及製圖	四	四	六	八	一二	一二	一二	一三	一五

學科目	第一學年			第二學年			第三學年			不定時	同上	同上
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期			
林學大意												
行政法大意												
植民政策												
獨逸語										(二)	(二)	(三)
合計	三一	三二	三二	三四	三四	三五				(二)	(二)	(三)
實驗及實習(回數)	二	三	三	三	四	四				二	二	二
計畫演習										(三)	(九)	(六)

林學科　每週教授時數

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
獨逸語	五	五	五	四	四	四	三	三	
英語	二	二	二	一	一	一			
數學	四	四	三	三(三)					
物理學及氣象學	二	二	二	二					
化學及分析	三	三	三	三	一(三)				
地質學及土壤學	二	二	二						
森林動物學及昆蟲學	二	二	二(二)						
森林植物學及樹病學	三	三(三)	二						

森林測量學	三	三	三	一	一				
測樹學				一	一	一			
林價算法及林業較利學				一	一	一			
造林學		一	二	二	二	三			
森林保護學							二	一	
森林利用學				二	三	三			
森林經理學				三	三	三			
森林工學				二	二	二			
森林理水及砂防工學				二	三	三			
林産製造學							三	三	
森林管理法							二	二	
森林法規							二	二	
林政學							四	四	
經濟學及財政學				二	二	二	二	二	
法學通論及行政法大意				二	二	二	二	二	
狩獵術						二			
農學大意							二	二	
植民政策							(二)	(二)	
教育學							(二)	(一)	
特別講義及實驗							(六)	(八)	(一二)
合計	二九	(三)三〇	(二)二九	(三)二九	(三)二九	三〇	(四)(六)二五	(三)(八)二四	(一二)二
林學實驗及實習(回數)	二	二	二	四	四	四	三	三	
森林演習				不定時	同上	同上	同上	同上	
森林事務見習							不定時	同上	同上

備考　各學科毎週教授時數中括弧()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧〔　〕ヲ附スルモノハ農學科ニ在リテハ選擇科目ノ時數、農業土木學科及林學科ニ在リテハ隨意科目ノ時數トス但シ選擇科目ハ二科目以上ヲ選修セシムルモノトス

本表ノ外體操ニ關シテハ各學科各學年共四日以上ノ野外演習ヲ課スルモノトス

第三章　學年、學期及休業日

第六條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條　學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　自四月一日　至八月三十一日

第二學期　自九月一日　至十二月三十一日

第三學期　自一月一日　至三月三十一日

第八條　休業日ハ左ノ如シ但シ休業日ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一、日曜日

一、祝日、大祭日

一、本校記念日（十一月一日）

一、春季休業（自三月二十五日至四月五日）

一、夏季休業（自七月二十一日至九月十日）

一、冬期休業（自十二月二十五日至一月十日）

第四章　入學、在學、休學及退學

第九條　入學ノ期ハ每學年ノ始トス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望堅固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且大學檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校卒業者

二、實業學校卒業者　但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

三、前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定合格者

前項第一號乃至第三號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタルモノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十一條　入學檢定ハ學力檢定、身體檢查及口頭試問ニ依リ之ヲ行フ

第十二條　學力檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第十三條　試驗檢定ハ國語、英語、數學、物理、化學、動物及植物ノ中三學科目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第十四條　無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ中學校又ハ實業學校卒業者ニシテ在學中第三學年、第四學年及第五學年(實業學校ニ在リテハ之ニ相當スル各學年)ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ全數ノ十分ノ一以內ニ在ル者トス但シ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者ニ限ル

前項ノ場合中學校又ハ實業學校在學者ニ付テハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ席次ヲ以テ最終學年ノ席次ト看做ス

第十五條　無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以內トス

無試驗檢定ニ依リ選拔セラレサリシ者ハ試驗檢定ニ應スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ第十六條ノ書類並入學檢定料ヲ要セス

第十六條　入學志願者ハ第二條ニ揭クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書(第一號書式)
二、履歷書
三、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書(卒業シタル場合ニハ遲滯ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス)若ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書
四、寫眞(入學願出前六箇月以內ニ撮影シタル脫帽半身手札形)
五、無試驗檢定ヲ受クル者ニ在リテハ身體檢查書(在學中最後ノ身體檢查書寫)

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書(第二號書式)ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ

第十七條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以內ニ保證人ノ連署ヲ以テ誓書(第三號書式)及戶籍抄本ヲ差出スヘシ

第十八條　保證人ハ本人ノ父兄又ハ丁年以上ノ親近者ニシテ本校ニ於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

前項ノ父兄又ハ親近者ナキトキハ學生ノ身上ニ關シ一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十九條　保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ速ニ誓書

ヲ差出スヘシ

第二十條　保證人改姓、改名、改印、轉居等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

第二十一條　學生ハ本校所定ノ制服、制帽ヲ着用スヘシ

第二十二條　學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ記シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十三條　學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ三箇月以上修業スルコト能ハサルトキハ保證人ノ連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ一箇年以内休學スルコトヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノ時ヨリ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十四條　學生改姓、改名、改印、轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ但シ改姓、改名、轉籍ノ届出ニハ戸籍抄本ヲ添附スルヲ要ス

第二十五條　學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條　學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十七條　本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限リ詮議ノ上試驗ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試驗ヲ省略ス試驗ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定料ヲ徵收セス

第二十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學業劣等若ハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

四、授業料ノ納付ヲ怠リ出席停止一箇月以上ニ亘ル者

第五章　表彰及懲戒

第二十九條　學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ其ノ成績優等ナル者其ノ他其ノ行爲他ノ模範ト爲スニ足ルト認メタル者ハ之ヲ選拔シテ特待生ト爲シ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生タルコトヲ罷ム

第三十條　學生校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト認メタルトキハ其ノ輕重ニ依リ戒飭停學又ハ放校ニ處ス

第六章　修業及卒業

第三十一條　各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業ノ成績等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第三十二條　前條ノ考査ニ合格セサル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム但シ場合ニ依リ詮議ノ上假進級ヲ爲サシメ再考査ヲ行フコトアルヘシ

第三十三條　已ムヲ得サル事故ニ依リ試驗ニ缺席シタル者追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條　第三學年ノ終ニ於テハ卒業論文ヲ提出セシメ又ハ卒業試問ヲ行フ

第三十五條　第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文又ハ卒業試問ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十六條　第三學年ノ成績考査ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十七條　本校卒業生ハ其ノ修得セル學科ニ從ヒ農學得業士、農業土木學得業士又ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得

第三十八條　成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　研究生

第三十九條　本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ詮議ノ上研究生トシテ二年以內在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條　研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十一條　研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ作リ指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第八章　選科生

第四十二條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條　選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第九章　入學檢定料、授業料及實驗實習費

第四十四條　入學檢定料ハ金五圓トス入學願書ト共ニ納付スヘシ

第四十五條　授業料ハ一學年本科生ハ金八拾圓選科生ハ金五拾五圓トス研究生ニハ授業料ヲ徵收セス

第四十六條　授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

本科生

第一期	自四月至八月	金參拾貳圓
第二期	自九月至十二月	金貳拾八圓
第三期	自一月至三月	金貳拾貳圓

選科生

第一期	自四月至八月	金貳拾參圓
第二期	自九月至十二月	金貳拾圓
第三期	自一月至三月	金拾貳圓

第四十七條　研究生及選科生ニハ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第四十八條　入學檢定料、授業料及實驗實習費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十九條　本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニハ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第四十九條ノ二　學生中學資ノ支辨極メテ困難ナリト認ムル者ニハ家庭ノ事情及性行、學業成績等ヲ調査ノ上授業料ヲ減免スルコトアルヘシ

前項授業料ノ減免ハ每學年ノ始ニ於テ之ヲ定ム但シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徵收期分ヨリ減免ス

第四十九條ノ三　前條ニ依リ授業料ノ減免ヲ受クル者ニシテ其ノ事情止ミタリト認メタル場合又ハ學業ヲ怠リ若ハ校則ニ悖ル行爲アリタル場合ハ其ノ翌月ヨリ授業料ヲ徵收ス授業料ノ月割額ハ一學年分ノ十分ノ一トス

第五十條　停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ニハ次期ヨリ授業料ヲ徵收セス各學期始業日以後授業料徵收期日以前ニ停學、休學又ハ退學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ徵收ス

第五十一條　休學又ハ停學ヲ解除セラレタル者若ハ特待生タルコトヲ罷メラレタル者ニハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徵收ス

第五十二條　授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以內ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十三條　授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ル場合ハ出席ヲ停止ス

第十章　寄宿舍

第五十四條　寄宿舍ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

第四十五條及第四十六條ハ昭和四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第四十九條ノ二及第四十九條ノ三ハ昭和七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

入學願書

志望學科　第一　何學科
　　第二　何學科

試驗檢定　（又ハ無試驗檢定）

受驗希望場所　何地　（但シ試驗所ヲ二箇所以上トシ廣告シタル場合）

私儀今般御校前記ノ學科ニ入學志望ニ付御許可相成度入學檢定料相添ヘ此段相願候也

本籍

住所（受信ノ場所）

年月日　　氏名 印（氏名ニ片假名ヲ附スヘシ）

年月日生

三重高等農林學校長氏名殿

履歴書（同一紙裏面ヨリ始ム）

學業

一、何年月日ヨリ何學校ニ入學、何年何月何學校卒業又ハ何年何月ヨリ何年何月マテ何某ニ就キ何學修業

一、何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證明書ヲ受ク等

職業

一、何年何月何官職拜命又ハ何業ニ從事、何年何月退官、廢業又ハ現今何官在職、何業從事等

兵役

一、何年何月何隊入營、何年何月滿期歸休除隊又ハ補充、國民軍編入等

賞罰

一、何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

第二號書式

學業成績書

右者本校在學中三年間ノ學業成績左記之通ニ候也

年月日　　學校長　氏名 印

三重高等農林學校長氏名殿

學科目 ＼ 學年	第　學年	第　學年	最終學年
何々			
何々			
何々			

平均點數					
席次	人中	番	人中	番	人中	番
修了年次	昭和 年	昭和 年	昭和 年		

注意　本書ハ當該學校長ヨリ直接本校々長ニ差出スモノトス

第三號書式

誓書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ專心學業ヲ勉勵可致候仍テ保證人連署ヲ以テ誓書如此候也

年月日

本籍
住所
族籍　戶主又ハ何某何男若ハ弟等
氏名　印
年月日生

本籍

二、三重高等農林學校農村工業實科規程（昭和十三年四月七日制定）

第一條　農村工業實科ハ農村工業ニ關スル實務ニ從事セントスル者又ハ其ノ指導者タラントスル者ニ必要ナル知識技能ヲ授ケ併セテ農村振興ニ關スル信念ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第二條　修業年限ハ一年トス

第三條　學科目及每週授業時數左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ每週授業時數ヲ增減スルコトアルヘシ

三重高等農林學校長氏名殿

住所
族籍　職業　本人トノ關係
右保證人　氏名　印
年月日生

學科目	毎週授業時數 第一學期	第二學期	第三學期
修身及公民科	一	一	一
體操	二	二	二
農村工業論	二	一	一
應用物理	四	三	二
製造化學	四	三	二
貯藏	四	二	
原料及工藝材料	二		
農林產加工	五	五	四
農林產製造	六	六	八
畜產及水產加工	一	三	五
農產工藝	三	四	四
木竹工藝	三	三	二
金屬工藝	二	三	四
雜工藝			四
農村工業機械	三	四	
意匠及圖案			三
商品及賣買		二	四
產業組合及法規		二	二
計	四四	四四	四四

備考　一、本表ノ毎週授業時數ハ講義及實習實驗ノ時數トス

二、體操ノ中教練ハ昭和十二年文部省訓令第二十六號學校教練教授要目中專門學校程度ノ學校ニ準シ之ヲ行フモノトス

第四條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、身體强健、志操堅實ニシテ左ニ該當シ且入學檢定（試問、身體檢査）ニ合格シタル者タルヘシ

一、實業學校（但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校）卒業者又ハ之ト同等以上ノ素養アリト認メタル者

第五條　入學志願者ハ入學願書、履歷書、卒業證明書又ハ卒業見込證明書（卒業シタル場合ニハ遲滯ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス）及寫眞（入學願出前六箇月以內ニ撮影シタル脫帽半身手札形）ニ入學檢定料（參圓）ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書、性行調書及身體檢查書ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ

第六條　所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第七條　所定ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選修セントスル者ハ詮議ノ上選修生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第八條　授業料ハ一箇年金四拾圓トシ第一期（自四月至八月）拾六圓、第二期（自九月至十二月）拾四圓、第三期（自一月至三月）拾圓ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

選修生ノ授業料ハ一箇年金貳拾五圓トシ前項ノ三期ニ拾圓、九圓、六圓ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

第九條　所定ノ課程ヲ修了シタル者ニシテ既修ノ事項ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ者ハ授業料ノ納付ヲ要セス但シ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第十條　本規程ニ特別ノ定メナキモノハ總テ三重高等農林學校規則ヲ準用ス

附則

本規程ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五細則

一、事務規程（大正十一年四月二十日制定）

第一章　總則

第一條　校務ヲ掌理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、圖書館、農林博物館、農學科、農業土木學科、林學科、農村工業實科、農場、植物園及演習林ヲ置ク

第二條　各課、各館、農場、植物園及演習林ニ長ヲ置キ各科ニ主事ヲ置ク

第三條　課長及館長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命シ主事、農場長、植物園長及演習林長ハ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條　校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條　各主管者ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第六條　所屬職員ハ主管者ノ指揮ヲ受ケ其ノ事務ニ從事ス

第七條　各主管者事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　分掌セル校務ノ相關聯スルモノハ之ヲ合議スヘシ事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第二章　分掌

第九條　庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
二、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
三、公文書類ノ接受發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
四、庶務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
五、儀式ニ關スル事項
六、官吏及雇員等ノ進退、賞罰及身分ニ關スル事項
七、敍位及敍勳ニ關スル事項
八、規則ノ制定、改廢及命令傳達ニ關スル事項
九、學校一覽及記錄編纂ニ關スル事項

一〇、統計報告ニ關スル事項
二、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
三、名簿、履歷書及出勤簿ニ關スル事項
三、會議ニ關スル事項
四、宿直ニ關スル事項
一五、庶務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
一六、他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項

第十條　會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、歲入歲出豫算及決算ニ關スル事項
二、物品ノ出納及保管ニ關スル事項
三、金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
四、官有財產及資金ノ監理ニ關スル事項
五、建物及校地ノ使用營繕ニ關スル事項
六、物品購入及不用品處分ニ關スル事項

七、傭人ノ進退賞罰及取締ニ關スル事項
八、校舍內外ノ洒掃ニ關スル事項
九、建物及校地ノ警備取締ニ關スル事項
一〇、電燈、電話、瓦斯、給水及煖房ニ關スル事項
二、會計課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
三、會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

第十一條　教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、教室、講堂、教具、教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項
二、教授事項ノ分擔及日課ノ配當ニ關スル事項
三、授業及休業ニ關スル事項
四、學生募集並ニ入學檢定ニ關スル事項
五、學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
六、成績考查、進級及卒業ニ關スル事項

七、教官會議ニ關スル事項
八、修學旅行ニ關スル事項
九、學事報告ニ關スル事項
一〇、教務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
一一、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
一二、參觀人ニ關スル事項
一三、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第十二條　學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
二、學生ノ風紀取締ニ關スル事項
三、學生ノ衛生及身體檢査ニ關スル事項
四、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
五、學生ノ顧屆ニ關スル事項
六、學生ノ兵役ニ關スル事項

七、學生ノ入退舍、外泊、通學、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
八、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
九、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
一〇、非常事變ニ關スル事項
一一、學生課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
一二、學生課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
一三、其ノ他學生取締ニ關スル一切ノ事項

第十三條　圖書館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、圖書ノ出納、整理及保管ニ關スル事項
二、圖書ノ貸付ニ關スル事項
三、書庫及閱覽室ニ關スル事項
四、官報、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ整理保存ニ關スル事項
五、圖書館ニ關スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
六、圖書館ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項

七、圖書ノ調査ニ關スル事項
八、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十四條　農林博物館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、標本模型類ノ出納、陳列及保管ニ關スル事項
二、標本模型類ノ觀覽ニ關スル事項
三、標本模型類ノ蒐集ニ關スル事項
四、博物館ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
五、博物館ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
六、其ノ他標本模型類ニ關スル一切ノ事項

第十五條　農學科、農業土木學科、林學科及農村工業實科ニ於テハ各左ノ事項ヲ管掌ス

一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項
二、前號ニ伴フ建物、試驗地及物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、教授要旨及教授細目ノ編纂整理ニ關スル事項
四、教授分擔ニ關スル事項

五、事業功程ニ關スル事項
六、林學科ニ於テハ林學實習場ニ關スル事項
七、其ノ地當該學科ニ關スル事項

第十六條　農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、農場ノ經營管理ニ關スル事項
二、農事實驗實習ニ關スル事項
三、養蠶實習ニ關スル事項
四、家畜飼育管理ニ關スル事項
五、農產製造及畜產製造實習ニ關スル事項
六、生產物處分ニ關スル事項
七、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
八、其ノ他農場ニ關スル事項

第十七條　植物園ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、植物見本園竝構內庭園ノ手入及清潔整頓其ノ他經營管理ニ關スル事項

二、植物ノ蒐集栽植ニ關スル事項
三、生産物處分ニ關スル事項
四、其ノ他植物園ニ關スル一切ノ事項

第十八條　演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項
二、森林演習ニ關スル事項
三、生産物處分ニ關スル事項
四、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
五、其ノ他演習林ニ關スル事項

二、物品會計細則（大正十二年四月二十一日制定）

第一條　本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本則ニ據リ處理スヘシ

第二條　物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

備品
- 通常備品（共用／專用）
- 學術用備品（器具／機械／標本）
- 動物
- 圖書

消耗品
- 通常消耗品
- 實驗用消耗品（藥品、材料及雜品／飼料、肥料、種苗）

第三條　備品ニハ品名、番號及校名ヲ記載シタル標札ヲ附スヘシ之ヲ各部局ニ支給スル場合ハ更ニ其ノ部局名ヲ記入スルモノトス但シ之ヲ附スルコト能ハサル物品ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ

第四條　各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名、數量及需要ノ事由

等ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ但シ註文上仕樣書及圖解等ヲ要スルモノハ之ヲ添附スヘシ

第五條　會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ經テ購入及支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一箇年ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　各部局ニ於ケル實驗實習上生產シタル物品ハ當該物品取扱主任ニ於テ其ノ品名數量評價及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第八條　前條生產物又ハ保管轉換若ハ寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ其ノ品名數量及價格若ハ評價ヲ附シ學校長ノ許可ヲ經テ藏置賣却又ハ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條　各部局ノ備品ニ付物品監守者、消耗品ニ付物品取扱主任一名若ハ數名ヲ置ク其ノ監守區域及取扱物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム

物品監守者及物品取扱主任ハ各自物品ノ使用又ハ取扱ニ關シ其ノ責ニ任スヘシ

第十條　職員執務用机、椅子類及被服類ハ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十一條　職員及傭人ノ新任轉免ノ際ハ會計課ハ其ノ都度專用備品ノ支給、返付ノ事ニ當ルヘシ

第十二條　物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ備品ハ監守簿ニ、消耗品ハ受拂簿ニ記帳シ現物ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ備品ニ在リテハ監守簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十三條　物品監守者變更シタルトキハ新舊監守者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類トヲ照合シ引繼ヲ爲スヘシ引繼ヲ了シタルトキハ新舊監守者連署シ其ノ旨物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十四條　物品監守者間ニ於テ物品監守換ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲ爲スヘシ

第十五條　物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定ノ請求書ヲ添ヘ會計課ニ差出スヘシ

會計課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ修理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條　物品監守者監守中ノ物品不用トナリ又ハ毀損シ修理ヲ加フルモ使用ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ旨所定ノ物品返付用紙ニ記載シ現品ト共ニ會計課ニ差出シ物品會計官吏ノ受領證ヲ受ケ物品監守簿ニ其ノ事由、年月日ヲ記載シ之ヲ抹消シ置クヘシ

第十七條　監守物品ノ標札ノ汚損若ハ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ標札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條　監守物品ニシテ紛失シタルトキハ物品監守者ハ其ノ品名、數量、番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條　不用ニ歸シタル物品又ハ毀損ノ物品ニシテ修理使用ノ見込ナキモノアルトキハ物品會計官吏ニ於テ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十條　使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局物品監守簿トヲ照合シ更ニ監守簿ト現品トヲ照査スルコト

二、消耗品ハ毎學期一回以上物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ照合シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

三、前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失、毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品出納及支給簿

本簿ニハ圖書以外ノ備品ヲ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ種別順、品目毎ニ

細別シ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、年月日、納人等ヲ登記シ供用、在庫ノ現數並物品ノ出納ヲ明ニスヘシ

貴重物品ニ付テハ其ノ製作番號又ハ現品タルヲ知ルニ足ル事項ヲ關係書ニ記入スヘシ

二、圖書出納簿

本簿ニハ圖書ノ部門別ニ從ヒ圖書名、部數、冊數、價格、番號、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、消耗品出納簿

本簿ニハ通常消耗品ニ在リテハ帳簿、用紙類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、薪炭油類、雜品類、雜用品類、實驗用消耗品ニ在リテハ實驗材料及雜品類、藥品類、肥料類、飼料類、種苗類等ニ區別シ品名、數量、價格、年月日、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ但シ通常消耗品ニ在リテハ品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ登記スヘシ

四、生產品出納簿

本簿ニハ實驗實習ニ依ル生產品又ハ製造品ノ品名、數量、價格、年月日等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

五、專用備品支給簿

本簿ニハ職員又ハ傭人ニ支給スル專用備品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ物品會計官吏ト其ノ支給ヲ受クルモノトノ受授ヲ明ニスヘシ

第二十二條　各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品監守簿

本簿ニハ圖書以外ノ監守物品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名、部數、冊數、價格、年月日等ヲ登記シ圖書ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ郵便切手類以外ノ消耗品ヲ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ

設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ受拂者ノ證印ヲ押捺セシムヘシ

四、郵便切手類受拂簿

本簿ハ庶務課ニ之ヲ備ヘ種別毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ當該物品取扱主任ハ常ニ帳簿ノ殘高ト現品トヲ照査スヘシ

第二十三條　本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ定期、臨時ノ二種ニ分チ毎年一回以上實地ニ就キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閲ハ八月トシ臨時檢閲ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ執行ス

一、物品保管ノ適否

二、備品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

五、帳簿ト現品トノ對照

第二十四條　物品檢閲委員ハ委員長一名、委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十五條　物品檢閲ハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ在リテハ物

品監守者、消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ニ就キ其ノ保管ニ屬スル物品ノ全部ヲ精細ニ檢査スヘシ

前項ノ檢閲ヲ受クル者ハ實地ニ就キ檢閲委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十六條　物品檢閲委員檢査ヲ了シタルトキハ帳簿ニ其ノ年月日ヲ記シ署名スヘシ

第二十七條　物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ當該責任者ヨリ補塡ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徴スヘシ

第二十八條　物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ了シタルトキハ檢閲ノ顚末ニ意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以内ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第二十九條　本則ニ據ル諸帳簿並諸表ハ別紙樣式ニ依リ調製スヘシ

備品監守區域及消耗品取扱種目表

部局名	備品監守區域	消耗品取扱種目
庶務課	校長室、講堂、貴賓室、會議室、應接室、奉安殿、庶務課室	郵便切手及端書
教務課	普通教室、教官室、教務課室	通常消耗品中教授用ノモノ
會計課	會計課室及他ノ部局ニ屬セサル筒所	通常消耗品
學生課	寄宿舍、學生集會所、消防器具置場、銃器室、武道場、學生控所、學生課室、弓道場、更衣室	
圖書館	圖書館、書庫	
農林博物館	博物館、標本室	實驗用消耗品
植物學實驗室	植物及植物病理實驗室、培養基製造室、定溫器室、細菌室、博物教室、硝子室	同
動物學實驗室	動物研究室、昆蟲研究室、顯微鏡寫眞室、顯微鏡實驗室、農學實驗室、昆蟲飼育室	同
物理學實驗室	物理實驗室、物理器具機械室、電池室、教官室、物理教室、氣象觀測所、發電機室	同
化學實驗室	分析室、天秤室、化學器具機械室、試藥室、教官室、化學教室、藥品庫、瓦斯發生室、蒸餾室、農產製造室、農產加工室、有毒瓦斯處理室	同
養蠶學實驗室	養蠶室、蠶種貯藏庫、乾燥室	同
園藝學實驗室	園藝研究室、果樹園	同
實驗農場園藝實習場	温室、熱帶植物温室、固定温床、土壤作業室、花卉園、蔬菜園	實驗用消耗品
畜產學實驗室	畜產實驗室、家畜家禽舍、飼料室、燻煙室、酪農室、秤場、孵卵器室	同
作物實驗室	作物實驗室、作物栽培實驗室	同
農政研究室	農政研究室	
農業土木學科	農業水利研究室、機械研究室、應用力學研究室、材料實驗室、機械實驗室、農業土木測量機械室、農業土木學科製圖室、農業工學實驗室	實驗用消耗品
林學科	森林理水及砂防工研究室、森林利用研究室、造林及經理研究室、林政研究室、林學實驗室、林學測量機械室、林學科製圖室、林產製造室、演習林	同
農村工業實科	實科事務室及同教室	同
實驗農場	農場管理室及實習室、作業室、收納室、穀物庫、農業品具機械室、堆肥舍、物置、桑置場、簡易堆肥及水肥舍、燻蒸室、農夫詰所、ポンプ室	同通常消耗品中事務用ノモノ
農業機械製作室	農業機械製作室	實驗用消耗品

三、圖書館規程

（大正十三年十二月十七日制定）

總則

第一條　本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽又ハ貸付ニ供スル圖書ヲ分チテ普通圖書及特別圖書ノ二種トス

第三條　本校卒業者、官廳學校職員、公私團體ノ役員又ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ經タルモノハ圖書ヲ閱覽シ又ハ之ヲ借受クルコトヲ得

第四條　本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

圖書閱覽

第五條　閱覽室ハ休業日ヲ除ク外每日之ヲ開ク但シ開閉ノ時限ハ變更ノ都度之ヲ揭示ス

第六條　學生閱覽室ニ入ラントスルトキハ圖書閱覽票ヲ館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

第七條　圖書ヲ借覽セントスル者ハ所定ノ圖書閱覽傳票用紙ニ相當事項ヲ記入シ館員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ之ヲ返納スヘシ但シ閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ超ユルヲ得ス

第八條　圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及雜誌類ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽了ラハ直ニ所定ノ位置ニ納メ置クヘシ

第九條　閱覽室ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ普讀、談話、喫煙等ヲ爲スヘカラス

第十條　閱覽室ニハ圖書、文房具ノ外他ノ物品ヲ携帶スルコトヲ得ス

第十一條　圖書閱覽票ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

圖書貸付

第十二條　圖書ヲ借受ケントスル者ハ所定ノ圖書借受證用紙ニ相當事項ヲ記入シ捺印ノ上館員ニ差出スヘシ

第十三條　圖書借受ノ冊數ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ學校長若ハ當該學科主任教官ノ證明ニ依リ圖書館長ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

教官　五冊　其ノ他　二冊

第十四條　教授上又ハ事務上必要アルトキハ前條ノ外圖書ヲ借受ケ研究室又ハ事務室ニ之ヲ備付クルコトヲ得此ノ場合ニハ當該學科主任教官又ハ課長其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十五條　圖書館ニ所藏スル教科書ニ就キテハ每學年ノ始メ當該教官ニ於テ豫メ冊數ヲ取纏メ借受ノ申出アルトキハ之ヲ貸付スルコトアルヘシ但シ當該教官其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十六條　特別圖書及普通圖書ノ中辭書諸學科ニ通スル參考書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ貸出スコトヲ得ス但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ之ヲ貸付セス

第十八條　凡テ借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス但シ第十四條ニ依ル圖書ハ第十二條ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

第十九條　學生ニシテ圖書ヲ借受ケタルモノハ十日以内ニ之ヲ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アルトキハ更ニ第十二條ノ手續ニ依ルヘシ但シ第十五條ニ依リ借受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ニ依リ職員ノ借受ケタルモノ及第三條ニ依リ借受ケタルモノノ借受期間ハ一箇月以内トス

第二十條　凡テ借受ケタル圖書ハ夏季及冬季休業前又ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ悉皆返納スヘシ但シ第十四條ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　夏季及冬季休業中圖書ヲ借受ケントスル者アルトキハ職員ハ圖書館長學生ハ圖書館長及當該學科教官ノ許可ヲ得タルモノニ限リ之ヲ貸付クルコトヲ得

但シ該圖書ハ夏季ニ於テハ九月十五日マテニ、冬季ニ於テハ一月十五日マテニ返納スヘシ

第二十二條　貸付シタル圖書ハ第十三條第十四條及第十五條ノ敦レニ依ルモノタルヲ問ハス臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ但シ第十四條ニ依ル圖書ニ就キテハ時宜ニ依リ本館員出張ノ上點檢スルコトヲ得

第二十三條　職員退職、轉任ノ場合、學生卒業、退學、休學等ノ場合ハ其ノ借受ケタル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

圖書檢索

第二十四條　各部局長及教官公務上必要アルトキハ圖書館員ノ承諾ヲ得テ書庫内ニ入リ圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ニ障礙ヲ及ホササル樣注意スヘシ

制裁

第二十六條　借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ若シ紛失、汚損等ノ行爲ア

ルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ之ヲ修補セシム但シ時宜ニヨリ相當ノ代償ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條　本則ニ違背シタルモノ其ノ他本館員ニ於テ必要アリト認ムルモノアルトキハ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖書ノ閲覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第二十八條　圖書ヲ辨償セシメ又ハ閲覽、貸付ヲ禁スヘキモノアリト認ムルトキハ圖書館長ハ豫メ意見ヲ具シ學校長ニ稟申スヘシ

四、農林博物館規程（昭和十一年六月十三日制度）

第一條　本校農林博物館ハ農林ニ關スル各種ノ標本模型類ヲ陳列保管シ本校教授資料ト爲スト共ニ職員及學生ノ研究ニ資シ併セテ一般公衆ノ觀覽ニ供ス

第二條　標本模型類ハ之ヲ農業、農業土木、林業、農山村副業、蒲蒙及其ノ他ノ數部ニ分チ更ニ之ヲ類別シ整理陳列ス

第三條　標本模型類ノ蒐集、出納、陳列其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ館長ハ部類別ニ從ヒ關係教官ト合議ノ上之カ處理ヲ爲スモノトス

前項合議ヲ爲スヘキ關係教官ハ學校長之ヲ指定ス

第四條　本館ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

本館開閉ノ時限ハ之ヲ掲示ス

第五條　本校ノ職員及學生以外ノ者ニシテ入館セントスルトキハ館員ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　觀覽者ハ館員ノ承諾ヲ得スシテ陳列品ニ觸ルコトヲ許サス

第七條　陳列品ハ之ヲ館外ニ持出スコトヲ得ス但シ教官ニシテ教授上又ハ研究上必要アル場合ハ館長ノ許可ヲ得テ一週間ヲ限リ持出スコトヲ得

前項持出品ニ就テハ當該教官之カ保管ノ責ニ任スルモノトス

第八條　觀覽者ニシテ陳列品ノ模寫、模造又ハ撮影等ヲ爲サムトスルトキハ館員ノ許可ヲ受クヘシ

第九條　觀覽者ハ館内ニ於テ喫煙ヲ爲スヘカラス

第十條　觀覽者陳列品又ハ器物ヲ毀損シタルトキハ相當ノ辨償ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十一條　館員ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ觀覽者ニ退場ヲ命シ又ハ其ノ携帶品ヲ檢閱スルコトアルヘシ

五、農場規程（昭和六年六月二十六日制定）

第一條　場務ヲ處理スル爲農場ニ左ノ九部ヲ置ク

一、總務部
二、作物部
三、園藝部
四、栽桑部
五、養蠶部
六、畜産部

七、農產製造部
八、林產製造部
九、森林苗圃部

第二條　各部ニ主任ヲ置キ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

主任ハ農場長ノ指示ニ依リ部務ヲ處理ス

第三條　各部ニ於テ處理スヘキ事務凡ソ左ノ如シ但シ事務ニシテ二部以上ニ關聯スルモノニ就テハ關係各部ハ總務部ヲ經協議ノ上之ヲ處理スルモノトス

一、總務部
(一)農場ノ一般的經營管理ニ關スル事項
(二)生產物處分ニ關スル事項
(三)肥料及通常消耗品ノ購入配給ニ關スル事項
(四)傭人ニ關スル事項
(五)各種事業ニ對スル經濟調査ニ關スル事項
(六)氣象觀測ニ關スル事項

(七)農場主任會議ニ關スル事項
(八)公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
(九)他部ニ屬セサル土地、建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項

二、作物部

(一)普通作物及特用作物ニ關スル事項
(二)專用器具機械、共用農具及動力ニ關スル事項
(三)灌漑排水ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

三、園藝部

(一)園藝ニ關スル事項
(二)園藝生產物加工ニ關スル事項
(三)專用器具機械ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

四、栽桑部

(一)栽桑ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

五、養蠶部

(一)養蠶ニ關スル事項
(二)養蠶生產物加工ニ關スル事項
(三)專用器具機械ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

六、畜產部

(一)家畜、家禽ニ關スル事項
(二)畜產物加工ニ關スル事項
(三)飼料作物ニ關スル事項
(四)厩肥ノ製造ニ關スル事項

(五)專用器具機械ニ關スル事項
(六)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

七、農產製造部

(一)農產製造ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

八、林產製造部

(一)林產製造ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

九、森林苗圃部

(一)森林苗圃ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項

(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

第四條　各部ハ左ノ事項ニ關スル書類ヲ總務部ニ提出スヘシ

一、每年度學生實驗實習計畫
二、每年度事業計畫及經費豫算
三、前年度事業成績
四、各學期學生實驗實習成績
五、物品ヲ購入シタルトキハ其ノ品目、數量及價格
六、其ノ他總務部ニ於テ必要ト認ムル事項

前項中第一號乃至第四號ニ就テハ總務部ニ於テ各總括編成ノ上農場長ニ提出シ農場長ハ之ヲ農場主任會議ノ議ニ附スヘシ

前項中第一號及第二號ニ關シ實施上變更ヲ生シタルトキ又ハ各部既定計畫以外臨時實施ヲ要スヘキ事項ヲ生シタルトキハ之ヲ總務部ニ報告スヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テハ豫メ變更案又ハ實施案ヲ總務部ニ提出シ農場主任會議ノ議ヲ經ルヲ要ス

第五條　農場主任會議ハ各部主任ヲ以テ組織シ農場長之ヲ主宰ス
農場長必要アリト認ムルトキハ農場主任會議ニ各部所屬職員又ハ其ノ他本校職員ノ列席ヲ求ムルコトヲ得

第六條　各部所屬職員以外ノ職員ニシテ本場ニ於テ實驗ヲ爲サントスル場合ハ豫メ其ノ計畫ヲ總務部ニ申出テ農場長ノ許可ヲ受クヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テハ農場長ハ農場主任會議ヲ經テ之ヲ決ス

六、植物園規程（昭和十一年六月十三日制定）

第一條　植物園ハ各種ノ植物ヲ栽植シ本校教授資料ト爲スト共ニ職員及學生ノ研究ニ資シ併セテ校庭ノ美化ヲ圖ルモノトス

第二條　園務ヲ處理スル爲植物園ニ左ノ二部ヲ置ク
一、植物見本園部
二、構內庭園部

第三條　各部ニ主任ヲ置キ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス
主任ハ園長ノ指揮ヲ承ケ部務ヲ處理ス

第四條　各部ニ於テ處理スヘキ事項凡ソ左ノ如シ
一、植物見本園部
(一)植物見本園ノ手入及清潔整頓其ノ他經營管理ニ關スル事項
(二)植物ノ蒐集栽植ニ關スル事項
(三)生產物處分ニ關スル事項
(四)其ノ他植物見本園ニ關スル一切ノ事項
二、構內庭園部
(一)構內庭園ノ手入及清潔整頓其ノ他經營管理ニ關スル事項
(二)植物ノ栽植及庭園ノ風致美化ニ關スル事項
(三)其ノ他構內庭園ニ關スル一切ノ事項

七、總代規程（大正十一年七月二十七日制定）

第一條　各學科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

第二條　總代ハ其ノ級ヲ代表シ學校ト學生及各級間ノ關係ノ圓滑ヲ圖リ兼テ級ノ統一、秩序及風紀ノ振作ニ努ムヘシ

第三條　副總代ハ總代ヲ輔佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四條　各級學生ハ各學期ノ始ニ於テ其ノ級總代及副總代ノ候補者五名ヲ投票ニ依リテ選舉スヘシ

第五條　總代及副總代ハ前條ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス但シ其ノ候補者適當ナラスト認ムルトキハ更ニ選舉ヲ行ヒ別ニ候補者ヲ定メシムルコトアルヘシ

第六條　第一學年第一學期ニ在リテハ前二條ノ規定ニ依ラス學校長ハ適宜總代及副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

第七條　總代及副總代ノ任期ハ一學期間トス

第八條　總代又ハ副總代ニシテ其ノ任ニ適セスト認ムルモノアルトキハ學校長ハ之ヲ免シ第四條及第五條ノ手續ニ依リ更ニ總代又ハ副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

前項ニ依ル總代又ハ副總代ノ任期ハ其ノ殘期間トス

八、學生制服規程（大正十一年九月十一日制定）

第一條　學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽子
- 地質　黒絨
- 前章　金色如圖
- 眼庇　黒革
- 頸紐　黒革（幅三分）
- 釦　金色圓形
- 帶布　黒色綾織（幅一寸五分）
- 制式　如圖

衣
- 地質　黒「サージ」但シ夏ハ黒「セル」

釦　金色如圖

襟章　左襟ニ農學科ハA、農業土木學科ハE、林學科ハFノ金字ヲ附ス

制式　如圖

袴

地質　衣ニ同シ

制式　如圖

靴　黒色但シ教練ノ際ハ編上靴若ハ深護謨靴ニ限ル教練ノ際ハ茶褐色ノ巻脚袢ヲ用フヘシ

外套ヲ着用スル場合ハ黒又ハ黒味勝質素ノ地質ノモノヲ選フヘシ

第二條　制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ但シ寄宿生ノ舍内ニ在ルトキハ此ノ限ニ在ラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定シタルトキ

第三條　實習實驗等ニ從事スルトキハ所定ノ作業服(地質カツラギ織茶褐色、制式如圖)ヲ着用セシムルコトアルヘシ但シ必要アル場合ニハ教練ノ際ニモ之ヲ着用セシム

第四條　疾病其ノ他ノ事故ニ依リ制服ヲ着用スルコト能ハサル者ハ生徒主事ノ許可ヲ得テ和服ヲ着用スルコトヲ得

第五條　冬服、夏服ノ着用期間左ノ如シ

冬　服　自十月一日　至五月十五日

夏　服　自五月十六日　至九月三十日　但シ第一學年生ハ五月一日ヨリ之ヲ着用スルコトヲ得

第六條　夏服着用期間ハ略帽、麥藁帶、布黒無地織、前章正帽ノ場合ニ同シ)ヲ用フルコトヲ得

第七條　學生外出スルトキハ制服又ハ袴、制帽ヲ着用スヘシ

第八條　新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第九條　選科生ニハ本規定ヲ準用ス但シ衣ニ襟章ヲ附セサルモノトス

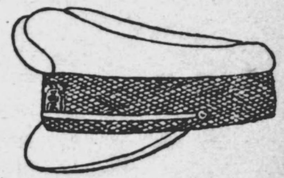
附　則

一、第三條ノ改正ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

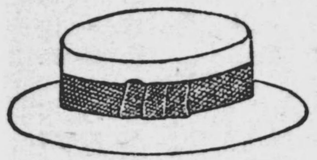
二、第三條改正規定施行ノ際現ニ在學スル者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

三、作業服規程ハ昭和四年四月一日限リ之ヲ廢止ス

正帽　細則



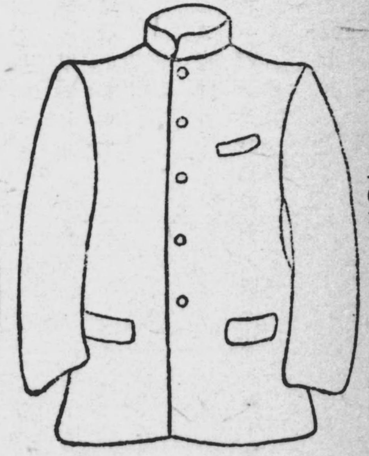
略帽



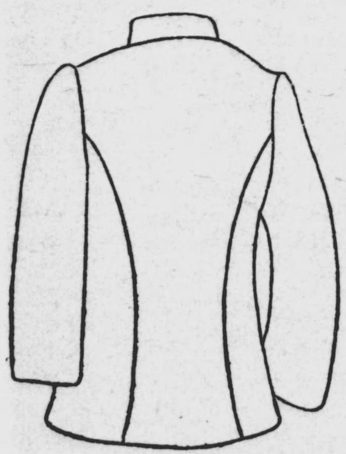
前章

釦

衣前面

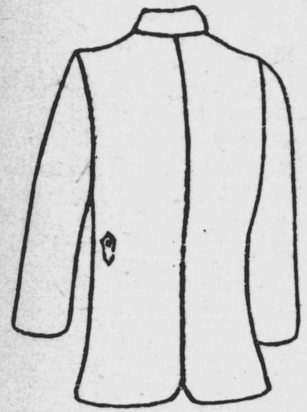


衣背面



作業服衣前面

作業服衣背面



細則

褲

農學科
農業土木學科
作業服褲

林學科作業服褲

四、第一條中衣地質ノ項ノ改正ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本改正規定施行以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

九、寄宿舍規程（大正十一年九月十三日制定）

第一條　寄宿舍ハ本校學生ヲ寄宿セシムル所トス

第二條　學生入舍ノ際ハ保證人連署ノ上入舍願ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三條　舍生ハ猥リニ退舍スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ退舍セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上生徒主事ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第四條　寄宿舍ニ委員六名、室總代若干名ヲ置ク委員ハ舍生ノ互選ニ依ル候補者中ニ就キ學校長之ヲ命シ室總代ハ室員ノ互選ニ依リ生徒主事之ヲ命ス

委員及室總代ノ任期ハ一學期間トス

第五條　委員ハ生徒主事及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舍內一般ノ風紀、衞生及會計、炊事等ノ事ニ當リ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第六條　室總代ハ室內整理ノ責ニ任シ兼テ室員ヲ代表ス

第七條　各室員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第八條　舍內日課時限ハ學校長ノ許可ヲ受ケ生徒主事之ヲ定ム

第九條　起床、就褥、喫飯及人員點檢ノ時刻等ハ振鈴喇叭又ハ半鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第十條　舍內ニ在リテハ靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル行爲アルヘカラス

第十一條　常ニ室內外ノ清潔整頓ニ努メ舍內ニ於テ苟モ不潔穢汚ノコトナキ樣留意スヘシ

第十二條　常ニ火氣ノ取扱ニ注意シ決シテ危險ノ所爲アルヘカラス

第十三條　室內備付ノ器具ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模樣更ヘヲ爲スヘカラス

第十四條　修業上必要ノ書類及物品ノ外ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帶スルコトヲ得ス

第十五條　荷物ヲ門外ニ持チ出タサントスルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條　舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者亡失者判明セサルトキハ舍内又ハ室内一同ノ者ヲシテ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十七條　舍内ニ於テハ上草履又ハ「スリツパ」ノ外用フヘカラス

第十八條　火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ舍生一同協力シ生徒主事及職員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ノ防止ニ盡力スヘシ

第十九條　疾病ニ罹リタル者又ハ金錢物品ヲ紛失シタル者アルトキハ速ニ本人又ハ室總代ヨリ其ノ旨學生課ニ届出ツヘシ

第二十條　舍内ニ談話室圖書室會議室及娯樂室等ヲ設ケ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ使用セシム

第廿一條　食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第廿二條　定時間外若シ入浴ノ必要アルトキハ豫メ學生課ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第廿三條　外來人ニ面會スルトキハ必ス應接室ニ於テスヘシ但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受ケ其ノ他ノ室ニ於テ面會スルコトヲ得

第廿四條　人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ於テ生徒主事又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ但シ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ點檢ヲ受クルコト能ハサル者ハ其ノ旨豫メ届出ツヘシ

第廿五條　已ムヲ得サル事情ニ依リ所定ノ時限外ニ外出セントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第廿六條　疾病ノ爲メ缺席缺課シタル場合ハ其ノ當日ハ外出スルコトヲ得ス但シ生徒主事ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第廿七條　外出中已ムヲ得サル事故ニ依リ歸舍時限ニ遲レタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ翌日中ニ届出ツヘシ

第廿八條　已ムヲ得サル事情ニ依リ外泊又ハ旅行セントスルトキハ豫メ其ノ事由日數及外泊先又ハ旅行先ヲ記シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ歸舍ノ際ハ宿所先ノ證明書ヲ差出スコトヲ要ス

外出中俄ニ外泊スルノ必要ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日歸舍時限

マテニ其ノ事由ト居所トヲ届出テ帰舎ノ際宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第廿九條　疾病ニ罹リタル者ハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケシメ重病、傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルトキハ期間ヲ定メ入院又ハ外泊セシムルコトアルヘシ

第三十條　食費及諸雜費ハ指定ノ日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ

十、寄宿料規程（大正十一年九月十三日制定）

第一條　本校寄宿舍ニ入舍スル者ハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生ニハ之ヲ免除ス

第二條　寄宿料ハ一箇年金拾六圓五拾錢トス

第三條　寄宿料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ之ヲ徵收ス

第一期　自四月至八月　金六圓

第二期　自九月至十二月　金六圓

第三期　自一月至三月　金四圓五拾錢

第四條　寄宿料ハ第一期ハ四月十一日ヨリ同十五日マテ第二期ハ九月十一日ヨリ同十五日マテニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第五條　半途入舍スル者ハ其ノ期ノ寄宿料ヲ一箇月金壹圓五拾錢トシ月割ヲ以テ入舍ノ日ヨリ五日以內ニ納付スヘシ

前項ニ依リ算出シタル金額其ノ期ノ全額ヨリ多キトキハ其ノ期ノ全額トス

第六條　寄宿料徵收期日以前ニ退舍スルモノハ一箇月金壹圓五拾錢ノ月割ヲ以テ即時納付スヘシ

第七條　一旦納付シタル寄宿料ハ半途退舍スルト雖モ之ヲ返付セス

第八條　寄宿料ヲ期限內ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ル者ハ本校規則第二十八條ニ準シ處分ス

十一、授業料徵收規程（大正十一年九月二日制定）

第一條　授業料ハ左ノ期間內ニ之ヲ徵收ス

第一期　四月十一日ヨリ同十五日マテ
第二期　九月十一日ヨリ同十五日マテ
第三期　一月十一日ヨリ同十五日マテ

第二條　本校規則第五十條第二項第五十一條ノ規定ニ該當スルモノハ其ノ事項發生ノ日ヨリ五日以内ニ授業料ヲ納付スヘシ

第三條　授業料ヲ徴收期限マテニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ催告後尚怠納五日以上ニ亘ル者ハ其ノ出席ヲ停止ス但シ特別ノ事情ニ依リ會計課ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　實驗實習費ヲ徴收スルトキハ別ニ其ノ金額及徴收日ヲ告示ス

第二條及第三條ノ規定ハ實驗實習費ニ關シ之ヲ準用ス

十二、校旗規程（昭和四年五月十日制定）

第一條　校旗ハ本校ヲ代表スル徽幟トス

第二條　校旗ハ左ノ制式ニ依ル

（制式略ス）

第三條　校旗ニ對シテハ職員學生常ニ敬虔ノ念ヲ以テ之ヲ尊重擁護スヘシ

第四條　校旗ハ校長室ニ保管シ其ノ出納ハ庶務課長之ヲ掌ル但シ非常ノ場合ニ於テハ職員學生ハ校旗ニ對シ臨機ノ處置ヲ爲スモノトス

第五條　校旗出場ノ場合左ノ如シ

一、全校ノ行動ニシテ學校ヲ表示スルトキ
二、本校ニ於ケル重要ナル儀式擧行ノトキ
三、其ノ他學校長ノ特ニ必要ト認メタルトキ

第六條　校旗捧持ノ爲旗手一名副旗手二名ヲ置ク

旗手ハ校旗ノ捧持ニ任ス副旗手ハ常ニ旗手ヲ伴ヒ必要アル場合之ニ代ルモノトス

第七條　旗手及副旗手ハ第二學年生中品行方正ニシテ體位勝レ學業成績優秀ナル者ニ就キ毎年一月學校長之ヲ命ス

旗手及副旗手事故アルトキハ學校長ハ臨時旗手及副旗手ヲ命スルコトアルヘシ

十三、通學生規程（大正十一年九月十四日制定）

第一條　通學生ハ本校ニ於テ適當ト認ムル宿所ニ寄宿スヘキモノトス

第二條　通學生其ノ宿所ヲ定メントスルトキハ豫メ宿所願ヲ差出シ生徒主事ノ認可ヲ受クヘシ宿所變更ノ場合亦同シ

宿所願記載事項ニ變更ヲ生シタル場合ハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第三條　通學生ハ本校學生二名以上同宿スヘシ但シ父兄其ノ他尊屬ノ居所ヨリ通學スル者又ハ已ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ日ヲ限リ之ヲ變更セシムヘシ

第五條　通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シ之ヲ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脫シタルトキ又ハ休學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラントスルトキハ直ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第六條　通學生ニシテ旅行外泊又ハ歸省一週間以上ニ亘ルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ學生課ニ届出ツヘシ

第七條　通學生ノ宿所ハ本校職員隨時之ヲ點檢スヘシ

十四、非常警備及手配規程（大正十二年一月三十一日制定）

第一　警備

第一條　暖爐又ハ火鉢使用中ハ巡視及小使時々各室ヲ巡視シ火氣ノ疎漏ナキ樣注意スヘシ

學生控所又ハ一時授業ヲ爲ササル教室等ハ特ニ每時間授業開始後十分以内ニ之ヲ巡視スヘシ

第二條　終業又ハ退廳ノ際ハ小使直ニ暖爐、火鉢等ノ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ之ヲ掃除スヘシ暖爐又ハ火鉢使用中ハ職員退廳ノ際巡視又ハ小使ニ其ノ旨ヲ告ケ退出スヘシ

第三條　寄宿舍ニ於テハ學生不在中小使時々各室ヲ巡視シ火氣ヲ警戒スヘシ

寄宿舍生ハ始業就寢又ハ外出十分前各自使用ノ火鉢ヲ火氣ノ疎漏ナキ樣室外廊下

ニ出タシ小使ハ直ニ其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第四條　炊事場及風呂場ニ於テハ火夫及炊夫常ニ火氣ヲ警戒シ用火後ハ能ク其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第五條　火氣及焚灰等取除キ及運搬ノ際ハ疎漏ナキ樣能ク注意シ取除キタル火氣及焚灰等ハ一定ノ場所ニ持チ行キ充分之ヲ始末スヘシ

第六條　小使、火夫及炊夫ハ火氣、焚火等ヲ取除キ其ノ始末ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ宿直員ニ報告スヘシ

宿直員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ巡視、寄宿舍ニ在リテハ小使ト共ニ之ヲ臨檢シ萬一ニモ過失ナキ樣注意スヘシ

第七條　室ノ出入口ニ鎖鑰ヲ施ス必要アルモノハ火氣ヲ取除キタル後二時間ヲ經過シ二回以上點檢シタル上之ヲ施スヘシ

第八條　夜間ハ宿直員一回以上及巡視二回以上各建物ノ内外ヲ巡視シ萬事警衛ノ任ニ當ルヘキハ勿論巡視ノ際特ニ火氣ニ注意スヘシ

寄宿舍ニ在リテハ舍生就寢一時間後火夫又ハ小使一回以上舍内ヲ巡視スヘシ

第九條　構内ニ在リテハ特定ノ場所以外ニ於テ喫煙又ハ焚火ヲ爲スヘカラス

煙草吸殻ハ必ス火鉢又ハ灰吹ニ棄入スヘシ

第十條　暖爐、火鉢、運火器等使用中ハ破損ノ箇所ナキ樣常ニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ使用ヲ禁シ修理ヲ加フヘシ

煙突ハ毎週一回之ヲ掃除スヘシ

第十一條　倉庫ノ入口及窓ノ非常口ハ會計課ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミ其ノ完全ヲ計リ且ツ常ニ目塗用土ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置キ臨機使用ニ差支ヘナキ樣注意スヘシ

第十二條　職員及傭人ハ終業又ハ退廳ノ際書類、器具及機械等ヲ夫々整頓シ容器アルモノハ之ニ納メ鎖鑰アルモノハ之ヲ施シ退ノ要アル重要書類其ノ他貴重物品ノ容器ニハ見易キ箇所ニ「非常持退」ト朱書シタル紙片ヲ貼付シ置クヘシ

第十三條　火災警備ニ就テハ職員、學生及傭人等一同常ニ能ク注意シ苟モ災害ノ起ラサル樣心掛クヘシ若シ之ニ關シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ臨機ノ措置ヲ爲シ直ニ建物監守者、擔任教官又ハ會計課長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條　火災、風害等非常事變豫防ノ爲メ建物監守者及會計課長ハ常ニ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

實驗又ハ實習ニ火氣ヲ使用スル場合ハ擔任教官主トシテ其ノ責ヲ負ヒ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

第十五條　火災其ノ他非常事變ノ警備ニ關シ若シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ建物監守者、擔任教官又ハ會計課長ハ之ニ嚴重ナル戒諭ヲ加ヘ又ハ適當ノ措置ヲ爲シ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二　手配

第十六條　校内ノ失火等非常事變ノ際ハ宿直員、巡視又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ハ直ニ最寄備付ノ消火器又ハ給水栓及布「ホース」等ヲ以テ手後レナキ樣相當ノ手配ヲ爲シ同時ニ當該建物監守者、擔任教官、會計課長及學校長ニ急報スヘシ

第十七條　校内失火又ハ近火等ニシテ他人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニハ前條ノ外警鐘及其ノ他ノ方法ヲ以テ廣ク急報シ且ツ速ニ警察署ニ報知スヘシ

第十八條　前條ノ急報ヲ聞キタルトキハ職員及傭人一同直ニ駈付ケ上官ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部署ニ就クヘシ

學生ハ寄宿舍玄關前庭ニ集合シ各掛長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條　校内失火又ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ庶務課員又ハ宿直員ニ於テ先ツ御眞影並ニ勅語謄本ヲ校内安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第二十條　火災ノ手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

(イ)防火掛
(ロ)運搬掛
(ハ)警戒掛

第廿一條　各掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

(イ)防火掛

一、校内失火ノ際ハ直ニ備付ノ消火器及喞筒ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スコト

二、近火ノ際ハ適宜ノ場所ニ喞筒ヲ引出シ延燒ノ虞アルトキハ建物ニ水ヲ注キ充分豫防ヲ爲スコト

三、防火上障害ト認ムルモノハ之ヲ撤去又ハ破壊スルコト

(ロ)運搬掛

一、校内ノ書類、圖書、器具、機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スルコト

二、物品ヲ運搬スル順序ハ火元最寄ノ場所ヨリ始メ且ツ「非常持退」ト記シタル貴重品ヲ先ニシテ書類、圖書其ノ他一般ノ物品ニ及フコト

(ハ)警戒掛

一、學校ノ周圍ヲ警戒シ本校職員、學生、傭人其ノ他官衙ノ職員、警官、消防夫及常時出入ノ諸商人、職工ノ外ハ入ルヲ禁止スルコト

二、出入口ニ受付所ヲ設ケ出入者ヲ監視シ且ツ賑付人氏名等ヲ書留メ置クコト

三、始終校内ヲ巡邏シ盜難等ヲ警戒スルコト特ニ搬出シタル物品ニハ監視者ヲ付シ嚴重ニ取締ヲ爲スコト

四、倉庫ヲ警戒シ其ノ出入口及窓等ニ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬ノ上又ハ運搬ヲ待タス直ニ之ヲ締切ル等適宜手配ヲ爲スコト

五、夜中ニ在リテハ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉

ノ用意ヲ爲スコト

第廿二條　各掛ニ長ヲ置キ學校長之ヲ命ス但シ非常ノ際掛長賑付ケ得サルトキハ臨機在校職員上官ノ指揮ヲ受ケ其ノ任ニ當ルヘシ

職員及傭人ノ部署ハ別ニ之ヲ定ム

學生ノ部署ハ寄宿舍生ニ就キ別ニ之ヲ定ム通學生ハ學生課長又ハ教官ノ指揮ニ從ヒ臨機適當ノ部署ニ就クモノトス

前項職員、傭人及學生ノ部署ハ非常ノ際臨機之ヲ變更スルコトアルヘシ

第廿三條　左ノ非常用具ハ各掛長ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ喞筒其ノ他ノ器類ハ時時之ヲ點檢試用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

一、喞筒　一、消火器

一、消火栓及同筒先　一、玄蕃桶

一、梯子　一、鳶口及刺股

一、鋸、掛矢及頭巾(刺子)　一、運搬用擔架ヅック袋

一、高張提灯及非常用提灯　一、蠟燭及摺附木

第廿四條　消火器ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ
消火器ニハ藥品充塡ノ年月日及其ノ有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前藥品ノ充塡換ヲ爲スヘシ當該建物監守者及會計課員ハ時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ
第廿五條　職員學生及傭人ハ平素消火器ノ所在及使用法ヲ心得置キ非常ノ場合之ヲ有効ニ使用スル樣心掛クヘシ
每學期一回以上職員學生及傭人一同火災手配ノ演習ヲ爲スヘシ但シ警鐘ヲ打チ臨時演習ヲ行フコトアルヘシ

十五、防空處置規程（昭和十二年十二月二十八日制定）

第一條　戰時事變ニ際シ空襲ニ對スル監視、警報傳達、燈火管制、防火、防毒、救護等本校ノ防護ニ關シテハ本規定ノ定ムル所ニ依リ之カ處置ヲ爲スモノトス
第二條　空襲警報ニ接シタルトキハ職員、學生及傭人ハ上長ノ指揮ニ從ヒ速ニ各所定ノ任務ニ服スヘシ
第三條　空襲防護ノ爲左ノ六班ヲ設ク其ノ分掌任務概ネ左ノ如シ

總務班
一、防護ニ關スル重要事項ノ審議竝計畫ニ關スル事項
二、防空ニ關シ公布セラレタル法規示達等ノ研究竝之カ傳達ニ關スル事項
三、防空司令官又ハ縣市防護團等トノ連絡ニ關スル事項
四、警報ノ接受竝傳達ニ關スル事項
五、防護材料及食糧品ノ調達竝配給ニ關スル事項
六、防護ニ關スル庶務會計ニ關スル事項
七、全班ノ統制連絡ニ關スル事項
八、其ノ他他班ニ屬セサル事項

警備班
一、御眞影、勅語謄本ノ奉安ニ關スル事項
二、對空監視ニ關スル事項
三、燈火管制ニ關スル事項

四、學校內外ノ警備ニ關スル事項
五、出入者ノ受付竝監視ニ關スル事項
六、交通整理ニ關スル事項

防火班

一、燒夷攻撃竝破壞爆撃ニ對スル防消火ニ關スル事項
二、火災ノ際書類圖書標本器具機械其ノ他物品ノ搬出竝之カ監視ニ關スル事項
三、外部消防隊トノ連絡ニ關スル事項

工作班

一、建築物電氣瓦斯水道電話等ノ補強復舊及急施等工作ニ關スル事項
二、建築物其ノ他ノ僞裝工作ニ關スル事項

防毒班

一、毒瓦斯ニ對スル警戒竝防消毒ニ關スル事項
二、防消毒材料ノ調達蒐集及配給ニ關スル事項
三、防毒避難所ノ施設ニ關スル事項

救護班

一、瓦斯中毒者負傷者ノ救護捜索収容及治療ニ關スル事項

第四條　職員學生及傭人ノ各班ノ所屬ニ就テハ毎年學年ノ始ニ於テ學校長之ヲ命達ス但シ時ノ狀況ニ依リ臨機他班ノ援助ニ當ラシムルコトアルヘシ

第五條　各班ニ班長一名ヲ置キ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス
班長ハ學校長ノ命ヲ承ケ班務ヲ處理スルモノトス但シ班長不在ナルトキハ同班ノ上級者臨機其ノ任務ヲ代行スヘシ

第六條　各班ノ任務實施方法班員ノ分擔及服務ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第七條　防空處置上遺憾ナキヲ期スル爲時々之カ演習ヲ行ヒ訓練ヲ爲スモノトス

十六、外國人特別入學規程

（昭和二年三月三十一日制定）

第一條　文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ外國人ニシテ本校ノ教授ヲ受ケントスルモノアルトキハ設備上支障ナキ場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

細則

第二條　前條ノ志願者ハ其ノ學修セントスル學科目ヲ定メ入學願書履歷書修業學校長ノ修業證明書並ニ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書ヲ添ヘ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　志願者ノ學力ヲ試驗ニ依リ檢定スル必要アル場合ハ入學檢定料金五圓ヲ徵收ス

第四條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ休學又ハ退學セントスル者ハ入學出願ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ出願スヘシ

第五條　在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六條　本細則ニ定ナキモノハ總テ本校規則中選科生ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

第七條　朝鮮人及臺灣人ニシテ特別入學ヲ願出ツルモノアルトキハ當分ノ內本細則ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六　職員

（就職順）

職員

學校長

從四位勳四等　農學博士　高橋隆道

教授

陸軍步兵少尉　正五位勳五等　修身、英語、獨逸語、教育學、公民科　岡言智

農學博士　林學士　森林利用學、林產製造學、數學　關谷文彥

正五位勳五等　理學博士　物理學、氣象學、數學、應用物理　北川久五郎

正五位勳五等　林學士　法學士　林政學、財政學、法學通論、行政法大意、森林管理法、森林法規　川田繁治郎

正五位勳五等　工學士　應用力學、材料及施工法、道路及橋梁、設計及製圖　松田俊正

正五位勳五等　農學士　化學及分析、土壤學、肥料學、鑛物學　稻川次郎

從五位勳六等　農學士　地質學、製造化學　中野清作

陸軍步兵少尉　從五位　農學士　農業經營學、農政學、植民政策、經濟學　藤村次郎

（兼）生徒主事　產業組合及法規、賣買　岡言智

園藝學、植物學

職員

作物學及育種學
養蠶學、養蠶實習
動物學、昆蟲學、實驗遺傳學
植民政策
畜產學、家畜榮養論、獸醫學、畜產加工
森林經理學、造林學、林價算法及林業較利學
農業工學、耕地整理論、測量學、農業機械學
森林理水及砂防工學、森林測量學、森林利用學
農業水利學、農業土木法規、農具論
植物學及植物病理學、植物生理學、貯藏

生徒主事

正六位 農學士 植田宰輔
正六位 勳六等 篠田平三郎
從五位 農學博士 大町文衛
陸軍步兵少尉 正七位 農學士 鄉原保
正七位 農學士 穴釜雄三
從六位 農學士 肥後純
正七位 農學士 小柳彌
正七位 農學士 伏谷伊一
正七位 農學士 鳥居嘗生
從七位 農學士 岩田吉人

從四位 勳四等 文學士 岡言智

（兼）教授

植田宰輔

助教授

從七位 勳八等 園藝得業士 進武雄

（兼）生徒主事補

陸軍步兵少尉 從七位 野知里慶助
勳八等 工學得業士 馬岡隆清
勳八等 農藝化學得業士 近坂百一
陸軍步兵少尉 正八位 農業土木學得業士 長瀨重藏
農學得業士 中原桂一
農學得業士 菊池和雄
農學得業士 大柿護
農業土木學得業士 外山義治

講師

正七位 勳七等 野知里慶助

職員

職員

體操

支那語、滿蒙事情

農村副業

支那語、支那滿蒙事情

工藝材料、木竹工藝

農產工藝

商品

意匠及圖案

貯藏

農學大意

實驗遺傳學

滿蒙事情

都市計畫

陸軍步兵少佐 從五位 勳四等	木下憲治	
勳八等	沼上勳	
從六位 勳六等	福井武治	
陸軍輜重兵少尉 正八位	一色龜之助	
	西胤晟之輔	
農學得業士	冨野耕治	
法學士	杉山治	
從六位	森川一郎	
從五位 勳五等	立石恒四郎	
從五位	橫川十二	
從五位 勳六等 農學博士	宇田一	
滿蒙開拓青少年義勇軍訓練所長 勳六等 農學士	加藤完治	
都市計畫東京地方委員會技師 從五位 勳五等 工學士	石川榮耀	

造園學

應用力學

公民科

農業機械學

海外事情

林政學、森林法規

國立公園論

森林植物生態學

農村工業論

農產工藝

園藝加工

纖詰論

都市計畫大阪地方委員會技師 從五位 勳六等 農學士	森	一雄
京都帝國大學教授 正五位 勳四等 工學士	澤井八洲男	
從四位 勳三等 法學士	木村正義	
九州帝國大學助教授 從五位 勳六等 農學博士 農學士	森	周六
南國產業株式會社取締役 農學士	有村貫一	
東京帝國大學教授 正四位 勳二等 林學博士 林學士	蘭部一郎	
厚生技師 正五位 林學博士 林學士	田村剛	
青森營林局長 正五位 勳四等 林學士	河田杰	
農林省副業課長 正五位 勳五等 農學士	見坊豪光	
農林技師 正五位 勳五等	內海一雄	
農林技師 從五位 勳六等 農學士	岩崎康男	
日本纖詰協會專務理事	星野佐紀	

庶務課

職員

會計課

課長　物品會計官吏、出納官吏　書記　藤原佐之吉

課長心得　囑託　正七位　勳八等　古賀勝次

助教授兼書記　大柿護

書記　五十嵐正雄

囑託　落合貢

囑託　遠山友來

雇　野崎廣助

書記　鈴木巧　助手兼書記　勳八等　清水敦

囑託　正七位　勳七等　池田松太郎

囑託　勳七等　近藤米三郎

雇　勳七等　增井幸次郎

教務課

課長　教授　北川久五郎

書記　山川忠雄

囑託　渡邊健吾

雇　西口良男

工手兼雇　的場久壽雄

雇　市川多喜男

學生課

課長　生徒主事兼教授　岡言智

教授兼生徒主事　植田宰輔

生徒主事補兼助教授　野知里慶助

舍監助教授　進武雄

舍監助教授　外山義治

舍監講師　木下憲治

圖書館	館長	舍監囑託 重倉龜太郎
		舍監囑託 坂本二郎
		舍監囑託 鈴木光廣
		雇 牧戸寛一
農林博物館	館長	教授 松田俊正
		書記 勳七等 藤枝儁一
		雇 杉本彰
學科主事、農場長、植物園長、演習林長		教授 大町文衛
		書記 山川忠雄
農學科主事		教授 中野清作
農業土木學科主事		教授 鳥居菅生
林學科主事		教授 川田繁治郎
農村工業實科主事		教授 稻川次郎
農場長		教授 植田宰輔
植物園長		教授 藤村次郎
演習林長		教授 川田繁治郎

囑託

體操及教練		陸軍歩兵少尉 正八位 坂本二郎
體操及教練		陸軍歩兵少尉 正八位 鈴木光廣
劍道教師		近藤信勝
柔道教師		山中良一
弓道教師		市川博

配屬將校

教練		陸軍歩兵大佐 正五位勳三等功五級 平嶋芳郎

校醫

醫學博士醫學士　橋本正之
醫學博士　宮野大作
醫學博士醫學士　森谷　等

助手

農場勤務　清水　敦
農學科勤務　工藤仙次
化學教室勤務　內藤秀男
農學科勤務　小野寺尚美
農學科及氣象觀測勤務　米村正信
農學科勤務　米田喜代次
林學科勤務　保地源之進
農學科勤務　中河留藏
林學科勤務　永井　弘

農學科勤務　增岡　哲
農學科勤務　下井清一
農業土木學科勤務　中川　正
農學科勤務　水谷喜世治
林學科勤務　松永佐兵衛
農業土木學科勤務　井崎隆夫
農學科勤務　大西謙二
物理學實驗室勤務　別府立已

工手

農業土木學科勤務　吉田茂三郎

第七學生

昭和十四年十月一日現在

一、學生氏名（五十音順）

農學科第三學年

足立郁郎（靜岡）　石川正人（山口）　小倉三郎（鹿兒島）
綫田道之助（靜岡）　太田友邦（島根）　加藤昌夫（三重）
金子表（埼玉）　加納泰治（愛知）　栗山豊（和歌山）
黑田庸介（靜岡）　小林金治（兵庫）　靜永憲丸（三重）
鈴木一夫（三重）　高瀨正一郎（京都）　田代三夫（香川）
田村精一（埼玉）　辻勇（岐阜）　西村農（熊本）
野間末男（三重）　橋倉俊夫（三重）　東野眞（福岡）
藤岡忠男（三重）　藤澤文雄（神奈川）　森松鐵郎（富山）
安田春太郎（兵庫）　山崎金夫（宮城）　脇山邦夫（京都）

農學科第二學年

石田重富（鳥取）　大藪忠（石川）　川崎又助（靜岡）
小林廣志（靜岡）　竹本道夫（京都）　永田信男（和歌山）
秦增美（大分）　細田禎一（奈良）　山田喜晟（奈良）

淺野喜久男（大阪）　石田寧（熊本）　市原俊雄（大阪）　伊藤喬（三重）
岩田喜代治（神奈川）　遠藤敬三郎（山形）　遠藤義雄（富山）　沖武廣（廣島）
奥野久之（兵庫）　加藤金三郎（青森）　加藤尙一（愛知）　川崎種三郎（新潟）
川村賢治（三重）　神田喜夫（奈良）　岸憲次（奈良）　吉良八郎（大分）
熊又賢（三重）　久米弘明（三重）　栗井義堯（和歌山）　後藤敏武（栃木）
酒井俊八郎（福島）　坂口直正（廣島）　佐藤敬次郎（福島）　杉本平（岡山）
角田元雄（神奈川）　住吉靜史（廣島）　高木確（和歌山）　田中敬一（滋賀）
田中公双（愛知）　知念忠太郎（沖縄）　德田光男（石川）　中田恭二（奈良）
永田忠男（愛知）　中本義雄（兵庫）　西岡清（廣島）　服部勤（愛知）
花房輝幸（兵庫）　林昇（愛知）　深美勉（石川）　藤濱一馬（三重）
堀口一雄（新潟）　松本久人（長野）　三浦義雄（新潟）　森計馬（京都）
柳澤基一（長野）　楊培森（滿洲國）　高沖博（廣島）　中島三（三重）

農學科第一學年

饗場雅武（山梨）　足利知巳（廣島）　浦口宗隆（三重）　小椋正（岐阜）
大本房太郎（大分）　川口信夫（愛知）　木村太郎（新潟）　黑宮秋夫（愛知）
阪田忠雄（大阪）　佐藤顯義（愛知）　柴田庫太郎（靜岡）　清水德郎（三重）

杉原武夫（三重）　會根博美（和歌山）
寺田由永（新潟）　富永傳（熊本）
中森茂樹（三重）　夏秋英久（三重）
林正裕（三重）　樋口博（福岡）
堀家俊雄（宮崎）　增田哲朗（福井）
村上周行（廣島）　本橋精一（東京）
山本哲夫（三重）　山本良夫（岐阜）
高澤孚（滿洲國）

農業土木學科第三學年

四十住勝平（石川）　淺野眞英（三重）
泉原榮（福岡）　岩島帝司（岐阜）
片桐勳（長野）　加藤雄敏（大分）
河淵常永（愛媛）　古賀仁（福岡）
澤田敏男（三重）　清水靖彥（山梨）
田中健次郎（滋賀）　田中八郎（愛知）
德重一義（福岡）　中場賢治（福井）

高木眞一（秋田）　田上清（茨城）
中島弘奕（岐阜）　中村敏（福岡）
西浦範次（大阪）　西原典則（福岡）
廣澤歲幸（大分）　藤田欽一（東京）
南敬二（奈良）　宮本芳治（三重）
山下松男（大阪）　山本一郎（靜岡）
安田弘（愛知）　吉岡忠夫（兵庫）

天ヶ瀨理彌（佐賀）　池田秀夫（靜岡）
海野茂（三重）　大西進（京都）
桑野定美（福岡）　小石川茂（三重）
佐藤兼三（宮城）　佐藤一（岩手）
善田重夫（三重）　田口榮（岐阜）
田中登（三重）　藤堂勝二（三重）
西風隆夫（和歌山）　丹羽久磨（三重）

拜野利夫（兵庫）　橋本二郎（京都）
久野勉（福岡）　藤原健良（高知）
水野一明（神奈川）　水野九二百（三重）
守谷正博（神奈川）　矢野實男（三重）

農業土木學科第二學年

雨宮堯郎（埼玉）　市川廣朗（三重）
內田正文（神奈川）　梅川國夫（三重）
尾崎卓（京都）　小谷幸夫（京都）
小河原敬（福岡）　近藤義勝（京都）
柴山迪夫（愛知）　鈴木慶一（福島）
田內清澄（高知）　辻二次男（三重）
西村志澄（高知）　森原正雄（東京）
東喜八郎（山口）　楠皮行雄（愛媛）
松尾次郎（長崎）　松田正彥（福岡）
村上澄雄（香川）　安原研三（岡山）
山田勉（福井）

林藤五（三重）　原田溫夫（福岡）
古橋兼昌（愛知）　細村嘉男（埼玉）
宮城榮仁（沖繩）　宮崎克巳（福岡）
吉野寅松（靜岡）

伊藤貞溫（三重）　飯島兼嘉（長野）
卜部榮（北海道）　大石宗一（靜岡）
大塚昌助（神奈川）　勝野正孝（兵庫）
佐野助春（三重）　柴田米二（愛知）
周防末雄（和歌山）　谷萬吉（京都）
富田順次郎（三重）　中野博視（三重）
長谷川芳郎（三重）　濱口禎祐（三重）
古川收男（京都）　正木清（三重）
三好武明（廣島）　三村貞男（東京）
山田恭一（岡山）　吉岡英彥（兵庫）

農業土木學科第一學年

市川與作（福岡）　伊藤信男（三重）
大倉清信（三重）　大畑昇一（靜岡）
梶間敏雄（三重）　加藤喜一（新潟）
小熊幸男（三重）　與水文藏（山梨）
清水勝一（山梨）　菅原新助（宮城）
武内一位（大分）　谷豐（三重）
中村吉隆（京都）　西潟義一（新潟）
西山文雄（長野）　野場鐵太郎（愛知）
細川周造（京都）　松井壽一（三重）
宮脇康次（和歌山）　山下源彥（三重）
齋藤英夫（岐阜）

林學科第三學年

飯塚正二（靜岡）　石崎吾郎（岐阜）
上原茂（岡山）　浦上宗久（大阪）
稻森一雄（三重）　浦山寬（富山）
大津實（大分）　柿沼克美（福島）
金森一良（京都）　河田一衛（岡山）
後藤裕行（三重）　櫻井芳水（福岡）
杉山哲朗（靜岡）　高橋惠一（熊本）
外山武彥（愛知）　豐田充穗（三重）
西川勝（三重）　西村福重（奈良）
服部英夫（三重）　樋口勝美（三重）
松岡義男（神奈川）　松本太郎（和歌山）
横田良次郎（東京）　蒜尚志（滿洲國）
伊藤良一（長野）　扇秀樹（三重）
遠藤久志（福島）　岡本正文（岡山）

小川弘道（東京）　大瀧積（茨城）
川添正雄（高知）　岸行雄（山形）
黒川芳雄（三重）　高津勝（大阪）
佐野勇（大阪）　島崎良雄（東京）
瀧川精一（愛知）　田村藤太郎（德島）
中富兵衛（奈良）　西田保（高知）
星英男（福島）　前重慶範（廣島）
溝淵速雄（高知）　柚原正三（福島）

林學科第二學年

相原正雄（東京）　石川素六（東京）
小澤今朝芳（長野）　大瀧竹夫（山形）
梶本幹一（兵庫）　神戸具（三重）
小林治（秋田）　近藤幸彥（滋賀）
瀨戸公（福井）　高松一郎（和歌山）
土屋永（福島）　土肥恒久（富山）
橋本喜大彥（大阪）　早川幹郎（岐阜）
柿本大八（三重）　川窪眞幸（高知）
北村暢良（奈良）　黒岩久之（福岡）
小杉卓爾（靜岡）　佐藤泰三（宮城）
白取泰治（青森）　菅谷肇（愛知）
土屋堯（岩手）　中川藤一（和歌山）
野上法次（島根）　林光一（長野）
前田臺三（滋賀）　有田芳郎（山口）
吉田勇（愛知）　山本武夫（和歌山）
石田正彥（靜岡）　市村收（福井）
大津藤僖次（和歌山）　大槻健三郎（長野）
清原正德（福岡）　熊野信義（香川）
櫻本正人（福島）　志賀謙三（新潟）
玉置彥四郎（和歌山）　千村統一（長野）
中村章雄（岡山）　南都正幸（兵庫）
林田正治（三重）　比嘉行雄（沖繩）

一杉 雅治（靜 岡）　松原 一夫（愛 知）　前田 昌秀（兵 庫）　馬場 義人（島 根）
村川 時雄（山 形）　山田 靜男（和歌山）　山西 功夫（奈 良）　吉岡 勘良（青 森）
吉田 知典（愛 知）　和田 稔彥（高 知）　馬 駿讚（滿洲國）　小松 義只（高 知）

林學科第一學年

青木 惇（岐 阜）　赤木 薫（岡 山）　赤木 正則（廣 島）　虻川 庄五郎（秋 田）
新井 永司（埼 玉）　荒川 大裕（秋 田）　安藤 嚴（愛 知）　安藤 一德（宮 城）
伊尾木 稔（高 知）　伊藤 清藏（青 森）　伊藤 三美（福 岡）　打矢 德美（秋 田）
岡田 隆夫（三 重）　岡野谷 敬（靜 岡）　小野 龜八郎（福 島）　大澤 健治（京 都）
鹿子木 元男（熊 本）　川田 庄一（山 形）　菊池 徹（宮 城）　木谷 一雄（奈 良）
木村 雄一（秋 田）　小西 正臣（和歌山）　澁谷 欣治（富 山）　進 三津治（福 岡）
鈴木 瑞生（三 重）　中川 宏（東 京）　中村 昌弘（德 島）　西田 敏之（福 岡）
西田 嘉正（滋 賀）　西四辻 公裕（東 京）　畑生 信雄（福 岡）　花見 猛志（福 島）
平松 鑛（愛 知）　蛭田 光一（福 島）　福士 逸郎（青 森）　細川 盛登（廣 島）
山崎 良次（鹿兒島）　湯川 丈八（長 崎）　橫尾 重喜（佐 賀）　吉川 正水（高 知）
吉原 三生（三 重）　董 連豪（滿洲國）　安濃 次郎（福 島）

澤崎 敏雄（和歌山）　村田 幸穗（三 重）　岡本 義雄（三 重）

農業土木學科選科

過立 先（中華民國）　番 松華（中華民國）

林學科選科

布施 暉雄（京 都）

農村工業實科

足立 勉（兵 庫）　池田 末喜（長 崎）　石田 春樹（茨 城）　石橋 進（滋 賀）
加藤 義博（愛 知）　國府 晃（京 都）　小林 喜男（群 馬）　佐藤 幸治（山 形）
下平 和夫（長 野）　鷹嶋 敏勝（秋 田）　高橋 基國（廣 島）　竹內 利明（山 口）
千田 耕夫（岩 手）　堤 春雄（佐 賀）　中川 常吉（三 重）　西川 長夫（福 井）
林 泉（福 岡）　細川 晃（鳥 取）　牧野 忠正（愛 知）　增田 稔（靜 岡）
松井 勇（京 都）　三木 泰正（福 井）　三島 暐一（島 根）　三村 司郎（埼 玉）
村上 直喜（熊 本）　山路 阿蘇男（三 重）　吉岡 東造（長 崎）　米田 廣良（鳥 取）
米森 善一（鹿兒島）　永江 順三（廣 島）　高橋 茂（埼 玉）　田中 義敎（高 知）
武內 爲雄（大 分）

二、學生數

學科	本科生 第一學年	第二學年	第三學年	計	選科生及特別生	農村工業實科生	農村工業實科研究生	計
農學科	四二	四八	三七	一二七	三			一三〇
農業土木學科	四〇	四一	四三	一二四	二			一二六
林學科	四三	四一	四〇	一二四	一			一二五
農村工業實科						三二	一	三三
總計	一二五	一三〇	一二〇	三七五	六	三二		四一四

三、地方別學生數

地方＼學科	本科生 農學科	農業土木學科	林學科	計	選科生及特別生 農村工業實科生	農村工業實科研究生	合計
北海道		一		一			一
青森	一		四	五			五
岩手		一	一	二		一	三
宮城	二	二	三	六			六
秋田	一		五	六		一	七
山形	一		四	五			五
福島	二	二	九	一三			一三
茨城	一		一	二			二
栃木	一		一	二			二
群馬					二		二
埼玉	二	二	一	五	二		七
千葉							
東京	二	三	六	一一			一一
神奈川	三	五		八			八
新潟	五	二	一	八			八
富山	二	一	二	五			五
石川	三	一		四			四
福井	一	二	二	五	二		七
山梨	一	三		四			四
長野	二	三	五	一〇	一		一一
岐阜	四	三	三	一〇			一〇
静岡	七	五	五	一七	一		一八
愛知	一〇	六	七	二三	二		二五
三重	二	三	八	一三	二		一五
京都	四	九	一	一四	二		一六
滋賀	一	一	三	五	一		六
大阪	五		四	九			九
兵庫	六	三	三	一二	一		一三
奈良	六	一	四	一一			一一
和歌山	五	四	七	一六	一		一七
島取	一		二	三	一		四
島根	一		三	四	一		五
岡山	一	三	四	八			八
廣島	七	一	三	一一	二		一三
山口	二	一	一	四	一		五
徳島			二	二			二
香川	一	一	一	三			三
愛媛	一	二	一	四			四
高知	一	一	一	三			三
福岡	一	一	一	三			三
佐賀	一	一	一	三			三
長崎	一	一	一	三			三
熊本	一	一	一	三			三
大分	一	一	一	三			三
宮崎	一	一	一	三			三
鹿兒島	一	一	一	三			三
沖繩	一	一	一	三			三
計	一〇〇	六〇	六六	二二六	一六	一	二四三

	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎
		四			三	四	一
	三	一二	一	一	一	三	
	九	六	一	一	一		
	一二	二二	二	二	五	七	一
				一			
		一	一	二		一	
	一	二二	三	四	六	八	一

	鹿兒島	沖繩	朝鮮	滿洲國	中華民國	總計
	一	一		二		一二七
		一		一		一二四
	一	一		二		一二四
	二	三		五		三七五
					二	六三二
	一					一四一
	三	三		五	二	

第八　卒業生

（昭和十四年十月一日現在）

一、卒業生氏名

（五十音順　×印ハ死亡）

農學科第一回　二十八名

足立　俊正（愛　知）　井田　高義（靜　岡）
大塚　俊司（靜　岡）　奥井　英太郎（三　重）
小林　梧郎（新　潟）　齋藤　武夫（山　形）
鈴木　橋雄（三　重）　鈴木　良次（新　潟）
中森　作雄（三　重）　野呂　貞好（三　重）
×深川　景吉（滋　賀）　堀田　耕太（三　重）
×松浦　幸也（三　重）　水越　弘（三　重）
大柿　護（北海道）
渡邊　孝太（新　潟）　桑垣　傳護（千　葉）
（舊岩名）
（舊折谷）
大河内　陽雄（三　重）　志村　浩一（埼　玉）
貞永　三郎（山　口）　（舊中西）熊谷　三郎（京　都）
宗宮　祐夫（岐　阜）　平山　重勝（愛　知）
羽生　節（鹿兒島）　（舊正木）木村　郁三（大　阪）
堀　五一（三　重）　山本　辰次郎（石　川）
村田　三郎（山　口）

農學科第二回　三十五名

卒業生

出射正次（山梨）　井上善光（奈良）
×小川亮一（栃木）　荻野周次（兵庫）
菊池金治（岩手）　菊池武夫（岩手）
島貫三郎（山形）　相馬世治（京都）
寺林傳太郎（富山）　富永重興（三重）
野澤磊爾（愛知）　馬場四郎（福島）
松田（舊平沼）延一（東京）　松本直一（滋賀）
森井儀一（三重）　森本庫一（兵庫）
山崎賢一（和歌山）　山田駒雄（山梨）

農學科第三回　二十九名

淺井晃（東京）　石濱壽（熊本）
井原稔（和歌山）　伊元貞三郎（島根）
大林廣次（靜岡）　工藤醇一郎（青森）
佐藤須賀夫（大分）　杉山猶之助（三重）
上田勇（大阪）　岡垣內匠（和歌山）
奥井亮三郎（三重）　小田志郎（三重）
中津川（舊黒田）俊吉（靜岡）　澤川繁（山形）
高木秀一（宮崎）　田中松夫（岐阜）
×中村龍樹（福岡）　沼田滿（茨城）
長谷川德（愛知）　濱田朝祐（埼玉）
前野軍太（三重）　池田（舊峰）長藏（和歌山）
森本修三（愛知）　山口明（宮崎）
佐野淡一（兵庫）
一色一雄（滋賀）　伊藤六郎（愛知）
岩田玉一（岐阜）　岡村庄一郎（兵庫）
後藤智（大分）　近藤亮一（愛媛）
須永達雄（栃木）　田中稔（山形）

谷畑喜作（富山）　玉置海三（和歌山）
中川勝八（愛知）　長山教一（高知）
春名一明（兵庫）　藤岡喜久（奈良）
大塚耕二（三重）

農學科第四回　二十七名

足立昇造（三重）　五百井亨（大阪）
大西保英（愛媛）　川島治幸（大阪）
×久保常三（奈良）　小林勝治（兵庫）
×清水幹雄（山口）　杉谷文之（富山）
西端善作（大阪）　八田植（滋賀）
深井寬（三重）　藤田正雄（廣島）
山内勇信（福島）　山本忠夫（神奈川）

農學科第五回　三十二名

卒業生

柘植利久（三重）　鳥羽篤郎（三重）
野崎清夫（岡山）　長谷川千秋（愛知）
米田健吉（兵庫）　澁井健一（福島）
（舊大橋）辻野友二（富山）　（舊大熊）三浦忠二（岡山）
川島三美（三重）　（舊木村）北川虎雄（和歌山）
小林龍雄（長野）　信部初男（兵庫）
田曾純吾（廣島）　（舊田中）四方田芳市（島根）
服部仙三（愛知）　樋田節雄（大分）
（舊三上）山川福之助（埼玉）　柳瀨美衛（高知）
北川孝治郎（京都）

（舊伊東）福林馨（三重）　井上一巳（和歌山）
內山榮（兵庫）　大河內恒夫（愛知）
岡谷義雄（愛知）　加藤平壽（愛知）
木檜忠夫（群馬）　小西眞（奈良）
下井友一（三重）　鈴木徹三（愛知）
西間木正巳（福島）　野上富士夫（京都）
廣瀨清孝（石川）　×藤繩慶夫（富山）
森榮左衛門（愛媛）　森濱重義（三重）

農學科第六回　三十九名

阿部一美（福岡）　磯部次郎（神奈川）
今西清（京都）　大河內秀樹（愛知）
金井修（兵庫）　龜井昌直（三重）
栗林武男（茨城）　小池保（岐阜）
齋藤修三（岐阜）　齋藤八十藏（三重）
井野周太郎（京都）　井樋信雄（佐賀）
大城清茂（沖繩）　（舊岡本）牧浦勇（奈良）
北村繁太郎（滋賀）　桑原正三（愛知）
笹岡一郎（奈良）　佐藤甚七（岐阜）
（舊田中）加藤助參（福井）　土井孫悅（山形）
信宗虎夫（廣島）　野村千秋（長野）
南元裕司（奈良）　宮原道明（廣島）
山田實（和歌山）　吉川正信（京都）
一色重夫（滋賀）　今井忠（新潟）
奥野貞雄（京都）　柏祐賢（富山）
河村有江（廣島）　楠恒三（靜岡）
（舊米本）垣本元信（三重）　後藤俊夫（愛知）
四方恒次（大阪）　白水透（宮崎）

關澤乙吉（新潟）　高木保郎（岐阜）
（舊中島）關谷清見（長野）　中谷壽（兵庫）
永田盛一（兵庫）　練尾一雄（岡山）
平城俊文（福岡）　松田祐一（沖繩）
山本善次郎（大阪）　吉田彥太（佐賀）

農學科第七回　三十九名

阿部三郎（德島）　荒井進（福井）
岩田明（三重）　岩田茂（三重）
加藤寬（三重）　木下英雄（愛知）
小林幸丸（三重）　（舊小堀）野村英治（福岡）
阪中憲一（和歌山）　清水武夫（三重）
諏訪三郎（岐阜）　（舊田中）加藤收治（愛知）
辻藤次郎（三重）　富野耕治（愛知）
×永田義雄（愛知）　西野半三（大阪）
×田中敏郎（三重）　中川春一（群馬）
中森孝治（三重）　長岡忠二郎（大阪）
服部一郎（愛知）　日野重三（愛媛）
村田茂三（三重）　森本重德（大阪）
木村泰次郎（靜岡）
飯森政義（石川）　井上石衛（長崎）
岩中信市（三重）　海野九郎（三重）
熊谷又吉（長野）　小林茂（愛知）
（舊小山）堀美則（大分）　近藤四郎（京都）
杉浦資良（愛知）　砂川尙一（兵庫）
田中昇三（東京）　田村十治（山口）
中津繁雄（岐阜）　×中根喜猷（三重）
西村清一（京都）　長谷川武（愛知）

卒業生

松原喬夫（島根）　眞鍋藏六（山口）　港井清七郎（京都）　（舊村田）平井武夫（三重）
森田安雄（富山）　柳彰三（三重）　安田隆一（山口）

農學科第八回　三十九名

有門博樹（福岡）　有田昌璋（鳥取）　井上清次郎（佐賀）　×大藪大（福岡）
岡田行生（三重）　×岡本敏一（岡山）　×尾山万代（三重）　蔭山武雄（兵庫）
（舊笠井）堀江由一（德島）　片山晴（愛知）　菊池和雄（愛媛）　熊代清（大阪）
高本秀政（愛媛）　小林成夫（三重）　小林久夫（岡山）　近藤球一郎（岡山）
佐々木善次郎（秋田）　佐々木吉雄（石川）　×澤田義郎（愛知）　×高柳庄市（靜岡）
田村惇（廣島）　辻厚美（福岡）　内藤淳一（岐阜）　萩原敏郎（靜岡）
秦良治（千葉）　原信彦（福岡）　平島龍茂（福岡）　細野英男（岐阜）
正木榮太郎（大阪）　松岡清治（三重）　前田一（高知）　茂利弘（三重）
森主一（福岡）　×森定治郎（愛知）　（舊森政雄）山下雅男（大阪）　山脇一誠（大阪）
吉川利太郎（奈良）　芳野修（愛媛）　若林知貞（三重）

農學科第九回　三十五名

池田親嘉（福岡）　池田哲彌（岡山）　×井原正郎（山口）　飯田清（三重）
今川文雄（山口）　岩崎敬三（大阪）　臼井俊郎（岐阜）　荻野四郎（山形）
加藤榮一（愛知）　河原松實（福岡）　岸信夫（兵庫）　岸村彌七（三重）
小山喜三郎（京都）　崔洪奎（朝鮮）　（舊齋藤）黒沼大藏（山形）　榊修（福岡）
實森又太郎（靜岡）　庄野勝（福岡）　城間盛茂（沖繩）　鈴木一郎（三重）
田中正雄（鳥取）　出口武（三重）　出坂一衛（石川）　戸上正（三重）
伸野信太（靜岡）　西川義敏（長崎）　島中武彥（鹿兒島）　（舊東）高垣勇（和歌山）
平井守久（愛知）　松崎寅男（長野）　萬谷俊美（廣島）　向勇夫（鹿兒島）
森泉元重（長野）　柳直幸（福岡）　（舊吉田）松浦伍市（福岡）

農學科第十回　四十二名

今本眞澄（奈良）　岩淵恭治（岩手）　井草卓郎（埼玉）　位田藤久太郎（三重）
井上秀一（鳥取）　有薗秀夫（兵庫）　小川耕（德島）　小國鶴一（兵庫）
金原一吉（長野）　金德謙（朝鮮）　黒田茂（大阪）　小出富雄（福岡）
小西尙雄（兵庫）　小牧次郎（神奈川）　西郷三郎（大分）　櫻井吉士（長野）

卒業生

卒業生

柴田　直（熊本）　下田　理作（熊本）
曾原（舊中岡）　弘（三重）　中野　嘉郎（三重）
野田　直路（福岡）　野村　美永（京都）
本城（舊濱田）　稔（三重）　平井　益藏（奈良）
本間　正歳（新潟）　×前野　正二（兵庫）
森垣　侃（京都）　森本　行雄（兵庫）
吉江　敏郎（東京）　脇田　俊光（愛知）

農學科第十一回　四十名

伊藤　卓男（三重）　岩本　菊藏（三重）
小野　亨（三重）　岡本　富夫（奈良）
神谷　勇（京都）　刈谷　嘉雄（高知）
清久　正夫（德島）　金　尙燮（朝鮮）
近藤　易直（長崎）　佐藤　一二（秋田）
三高　正巳（靜岡）　白木　敏幸（福岡）

橘　輝明（愛媛）　寺田　錦一（兵庫）
中村　恭吉（福岡）　仲森　秀夫（三重）
濱田　逸郎（三重）　濱田　武（埼玉）
藤原　進（大分）　小野田（舊藤原）俊郎（三重）
岡田（舊益川）孝夫（三重）　松井　勇（山形）
屋嘉　宗顯（沖繩）　山田　豊美（香川）

飯倉　行雄（大分）　宇美　彌助（福岡）
加藤　良男（愛知）　桂　貢（山口）
木村　壽郎（愛知）　北川　赳（三重）
郡司　正造（福島）　駒井　四郎（兵庫）
×齋竹　孝一（愛知）　猿渡　工（熊本）
十龜　千鶴雄（愛媛）　田中　勇（京都）

田中　壹郎（大阪）　田中　米夫（三重）
野口　新吉（岐阜）　日向　導德（山梨）
丸山　正秋（長野）　村上　美好（福岡）
廣井（舊本村）順藏（福岡）　山田　信義（愛知）

農學科第十二回　三十七名

安宅　慶治（德島）　秋田　重男（滋賀）
上村　武吉（岡山）　小野　章（山梨）
太田　俊晴（長野）　大柴　保信（山梨）
河合　幸雄（岡山）　川上　久也（三重）
小林　隆一（新潟）　近藤　鶴彥（三重）
阪本　卓男（熊本）　竹村　弘二（京都）
西川　三次（京都）　野村　本義（長野）
杉浦（舊松井）近信（島根）　松本　隆治（靜岡）
×森崎　大助（大分）　山崎彌右衛門（靜岡）

高松　正雄（福岡）　西田　公保（熊本）
東　繁一（三重）　藤畑　孝正（富山）
村田　重一（愛知）　毛利　嘉治（三重）
吉村　英吾（東京）　脇田　晴美（愛知）

×芦田　肇（京都）　井芹　徹（熊本）
岡本　和之（愛知）　落合　幸文（三重）
大島　仁（愛知）　大谷　宗三（奈良）
川高　重武（京都）　小林（舊佐々木）一夫（兵庫）
佐井　清（高知）　小野寺　尙美（岩手）
塚原　順三（岐阜）　中上　登（奈良）
林　政衛（群馬）　箕輪（舊本多）九三（奈良）
前田　豊司（大分）　水田　四郎（廣島）
若山　虎三（廣島）　分部　正（三重）

八寻　眞（福　岡）

農學科第十三回　四十一名

相賀　正六（熊　本）　朝比奈佐武郎（神奈川）
井村　晴二郎（三　重）　小宅　正男（山　形）
神谷　堅二（愛　知）　河野　通雄（香　川）
齋藤　好吉（秋　田）　坂根　千（京　都）
白戸　幸雄（青　森）　鈴木　唯男（愛　知）
鶴我　俊丸（福　岡）　徳田　文雄（石　川）
野々宮　朗（高　知）　野村　藤英（三　重）
林　正一（三　重）　原田　昇（福　岡）
藤田　正秋（福　島）　增本　貞博（徳　島）
森川　謙三（秋　田）　山内　正典（三　重）
渡邊　元芳（長　崎）

農學科第十四回　四十名

安孫子　喜彰（滋　賀）　市川　八十夫（群　馬）
梶田　耕造（兵　庫）　川越　年男（大　分）
喜多見　辰夫（大　阪）　齊田　桂三（東　京）
佐古　正彦（山　口）　佐々木　宏（廣　島）
竹田　正三（熊　本）　谷畑　銀作（富　山）
中岡　道長（京　都）　中橋　常泰（高　知）
橋本　豊富（東　京）　服部　忠七（福　井）
東畑　幸祐（三　重）　平野　廣（愛　知）
宮田　貞光（長　野）　望月　庄一（山　梨）
山下　善平（愛　知）　吉田　一十三（京　都）

淺田　久夫（三　重）　石井　宗雄（愛　知）
井上　良之助（山　梨）　梅田　善明（和歌山）
太田　勇（三　重）　岡崎　清（山　口）
樫本　善次（石　川）　木下　正巳（三　重）
桑名　悦男（三　重）　後藤　忠治（廣　島）
白井　重雄（神奈川）　杉浦　正巳（愛　知）
田代　繁雄（和歌山）　田方　耕牧（石　川）
辻　喜代史（三　重）　豊田　壽一（奈　良）
伴　利也（三　重）　蛭本　博彦（山　口）
松井　萬雄（奈　良）　山口　克夫（栃　木）

農學科第十五回　三十八名

石田　隆男（福　島）　伊藤　武男（三　重）
梅延　弘（岡　山）　大井　角次（滋　賀）
尾崎　林一（山　口）　甲斐　龍二（大　分）
金鍾　赫（朝　鮮）　日下部　幸雄（京　都）
佐宗　章（愛　知）　佐野　利男（山　梨）
武智　正千代（愛　媛）　竹元　善夫（兵　庫）
塚本　隆治（福　岡）　津川　一男（廣　島）
西嶋　正敏（熊　本）　西村　國男（三　重）
增永　敏之（福　井）　又吉　盛忠（沖　繩）
若林　重定（三　重）　細田　一夫（兵　庫）

荒木　正矩（福　岡）　大藪　義彦（和歌山）
片岡　慶次（三　重）　加藤　幸太郎（愛　知）
神山　竹松（新　潟）　神田　良一（愛　知）
菊地　輝次（新　潟）　木下　泰次郎（静　岡）
小寺　武夫（大　分）　齋藤　新之助（静　岡）
白川　廉五郎（長　野）　鈴木　四郎（愛　知）

高橋恒二（愛媛）　田川亮三（神奈川）
田中正臣（三重）　田畑武男（奈良）
中野惣一（愛知）　成澤靜一（宮城）
濱島辰雄（愛知）　林義雄（山口）
福田義敎（福井）　藤本正翠（兵庫）
宮田堯文（神奈川）　柳澤泉（長崎）
何裕昌（滿洲國）　程聯雲（滿洲國）

農業土木學科第一回　二十八名

岩本益雄（愛媛）　遠藤靖（宮城）
川勝洋三（京都）　×刑部精一（三重）
酒井鉦一郎（愛知）　清水武雄（香川）
多賀正三（滋賀）　田上源八郎（三重）
×中島辰（愛知）　林桂（岐阜）
×福家雄一（香川）　×牧野潤二（山形）

竹下正二（高知）　巽忠男（奈良）
千葉直美（岩手）　塔下亮一（兵庫）
西出克彥（三重）　波多長壽（島根）
日原利夫（和歌山）　平形信雄（群馬）
藤本元介（德島）　松原省三（滋賀）
山口義臣（三重）　山内彌四郎（山形）

奥田壽夫（三重）　川合久三（滋賀）
古賀菊次（山口）　小山操雄（兵庫）
鈴木武臣（德島）　高倉貫一郎（三重）
田原耕三（三重）　齋辰雄（御島）
東川美雄（三重）　日比野文雄（愛知）
松尾直三（三重）　松本貞一（三重）

領滿龜（福岡）　森嘉門（三重）　安田次貞（愛知）　山田長作（愛知）

農業土木學科第二回　二十八名

有吉志良（福岡）　（又一改名）伊藤又右衛門（福井）
尾崎孝雄（愛知）　川口襄三郎（三重）
齋藤辰雄（愛知）　櫻井實（宮崎）
（舊橋都）伊澤武二（長野）　長谷武雄（三重）
藤井芳雄（山口）　藤村忠雄（山口）
堀美也雄（岐阜）　森山明（東京）
×渡邊小太（三重）　川本貴雄（三重）

農業土木學科第三回　三十六名

×稻垣茂（三重）　上島克己（三重）
大塚清司（靜岡）　大西多一（德島）
（舊川合）眞田光夫（三重）　×北川俊次（三重）
（三男改名）芝田敦雄（三重）　×辻原昌男（三重）

（舊岩下）境次男（熊本）　（舊小川）遠藤征二（宮城）
工藤延雄（岐阜）　倉小三郎（北海道）
堤喬司（兵庫）　（舊西村）關正一（富山）
（舊服部）內藤榮三郎（三重）　濱本良造（京都）
古市與一（三重）　堀內正利（福岡）
山崎爲夫（愛知）　×若出由夫（三重）
×星野豐平（香川）　×加茂仁三郎（靜岡）

（舊織田村）田中師郎（山口）
榎本松三郎（東京）
奥田一郎（石川）　柏井益水（高知）
（舊小山）中原桂一（愛知）　佐藤榮郎（山形）
土井利一（富山）　中田政武（三重）

卒業生

中森 悌二（滋賀）　永原 實郎（三重）
早瀬 巳之（石川）　廣田 延太郎（三重）
松浦 圭三（大阪）　×宮下 功（長野）
横山 重義（福島）　芳山 久夫（愛知）
石川 常雄（山梨）　仙波 漸（愛媛）

農業土木學科第四回　三十二名

池田 誠常（石川）　池田 義雄（靜岡）
海野 榮一（三重）　岡本 福三（石川）
大西 正康（高知）　北村 壽男（三重）
小宮山 靜藏（山梨）　駒田 勝（三重）
鈴木 正次（三重）　高宮 卯市（大阪）
豊田 榮一（三重）　×西井 雅一（三重）
松尾 武記（長崎）　宮ヶ原 晋（鹿兒島）
山本 義三郎（兵庫）　山本 棄男（三重）
西田 吾一（岐阜）　西 正夫（三重）
福元 一二（鹿兒島）　藤橋 九市（滋賀）
森賀 年秋（愛媛）　×山下 鐵一郎（廣島）
若林 鄕夫（三重）　阿部 春太郎（三重）
藤本 和夫（三重）　坂本 敏夫（三重）
石田 光平（大阪）　（舊伊藤）岩崎 繁雄（三重）
岡本 義信（香川）　大島 精一（北海道）
（舊小島）宮本 万之亟（福島）　小島 平雄（廣島）
佐倉 俊夫（三重）　（舊據野）西口 末郎（三重）
田中 重平（新潟）　土井 牧夫（長崎）
藤原 實（三重）　增野 政雄（山口）
（舊安永）奥平 治郎（福岡）　（舊山口）是洞 四郎（群馬）
×貝增 利雄（三重）　松村 寬（高知）

農業土木學科第五回　三十一名

（舊荒井）松井 末造（岐阜）　荒木 甚一（三重）
伊藤 俊雄（福岡）　岩崎 祐一（三重）
小河原 田（長野）　笠松 清（宮城）
小島 盈（岐阜）　佐野 經爾（三重）
高木 勝（北海道）　（舊高崎）岡 恒夫（三重）
長濱 昌英（福岡）　西山 清茂（三重）
前田 由之助（三重）　牧 鎗之助（愛知）
水谷 侚（三重）　×山手 壽人（福岡）
家木 忠信（三重）　市川 康三（岐阜）
內田 隆（兵庫）　大庭 元則（靜岡）
川口 幸村（三重）　倉田 儀郎（三重）
城野 橋雄（三重）　大坊 吉則（岩手）
（舊外岡）足立 敏雄（靜岡）　永井 儀夫（兵庫）
日下 龜治（和歌山）　前川 德太郎（三重）
松井 重雄（兵庫）　眞鍋 正行（香川）
森田 宗二郎（三重）

農業土木學科第六回　三十六名

新 重吉（鹿兒島）　石田 惣市（三重）
（舊伊藤）上田 貞三（三重）　上杉 勇（三重）
大泉 磯右（三重）　（舊奥原）中村 亮（長野）
（舊加藤）西川 千太郎（三重）　×木原 久次郎（京都）
卒業生　成 泰亨（朝鮮）
（舊家木）渡邊 忠恪（三重）
（舊伊藤）倉田 博夫（三重）
奥中 武次郎（大阪）
片岡 善龜（高知）
久保田 一男（岐阜）
磯部 五兵衛（三重）
×內山 勇（三重）

卒業生

倉田　一郎（三　重）　酒井　徳江（長　野）　篠崎　富男（埼　玉）　篠原　佑三（富　山）
島　　明（富　山）　瀧本　一郎（兵　庫）　内藤　勇（愛　知）　中尾　米市（大　分）
増田　武男（三　重）　萩森　豊（愛　媛）　橋本　勝（大　分）　福井　秀男（京　都）
（舊中川）　　　　　　　　　　　　　　　　（舊八幡）　卓（兵　庫）
星野　義一（愛　知）　三ッ野由太郎（北海道）　山村　十木生（三　重）
渡邊　亘（福　岡）　布谷　嘉明（三　重）　×平野　泰弘（三　重）　増田　三郎（靜　岡）

農業土木學科第七回　三十六名

荒川　清（愛　知）　石崎　勝也（三　重）　井田　三津雄（三　重）　伊藤　俊夫（三　重）
（舊糸川）
×仁宇　陸雄（三　重）　浦邊　良雄（千　葉）　大月　文雄（岡　山）　×大西　四郎（三　重）
（舊川北）
土保　賢（三　重）　河野　敬之（福　岡）　（舊岸田）
草川　五郎（三　重）　×小山　實（新　潟）
坂口　傳一郎（三　重）　志田　房次（三　重）　下川　一雄（三　重）　菅　英勳（岡　山）
鈴木　定吉（新　潟）　關口　元吉（群　馬）　高嶋　武（三　重）　田上　正男（茨　城）
近石　義雄（香　川）　（舊都竹）
生津　好雄（岐　阜）　×出水　千代義（香　川）　戸田　正雄（富　山）
中井　清（三　重）　行方　文吾（三　重）　根本　豊男（東　京）　服部　一男（奈　良）
服部　進（三　重）　福野　松雄（滋　賀）　（舊綱川）
近藤　庄平（香　川）　宮崎　佳久（三　重）

柳井　貞二（廣　島）　山岡　次郎（三　重）　渡邊　武（愛　媛）　中島　亮（大　阪）

農業土木學科第八回　四十名

石井　龜太郎（千　葉）　石川　與一（三　重）　岩崎　力（三　重）　植田　勇一（香　川）
太田　新勇（三　重）　金尾　修而（岡　山）　川崎　光郎（三　重）　木下　榮吉（三　重）
久保　義生（三　重）　桑原　忠雄（靜　岡）　小寺　德夫（大　分）　佐藤　直（三　重）
城出　賤夫（三　重）　田原　輝男（三　重）　辻　亥輪男（大　阪）　中村　基一（兵　庫）
熊本　重治（富　山）　西井　俊三（三　重）　西村　亮一（三　重）　野呂　太郎（三　重）
羽生　憲治（鹿兒島）　原　政一（三　重）　関　泳市（朝　鮮）　福井　重男（京　都）
藤谷　朋貞（三　重）　牧戸　市太郎（三　重）　桝田　和夫（愛　知）　松井　信雄（靜　岡）
（舊松田）
名越　高朝（鹿兒島）　松本　和郎（三　重）　村田　照雄（岐　阜）　目見田政次郎（愛　媛）
森岡　米一（三　重）　安田　俊直（長　野）　吉田　實（岐　阜）　米川　幹正（三　重）
渡邊　勝（三　重）　吉澤　進（福　井）　鐘ヶ江　吉雄（佐　賀）　峰　鬼子男（三　重）

農業土木學科第九回　三十九名

赤堀　三郎（三　重）　池上　武一（大　阪）　石井　均（大　分）　石塚　金八（香　川）

卒業生

卒業生

稻垣 清利（三 重）　稻田 長德（三 重）
笠原 太吉（福 島）　×河野 富男（山 口）
栗田 德一（靜 岡）　小菅 一夫（大 阪）
島上 正三（福 岡）　新谷 八太郎（福 岡）
瀨古 孝一（三 重）　高橋 數雄（香 川）
辻 好基（三 重）　外山 義治（三 重）
藤原 庄一郎（靜 岡）　（舊船橋）玉置 章次（愛 知）
增井 正（三 重）　松岡 英夫（和歌山）
（舊山内）金丸 務（三 重）　山下 茂（福 岡）

農業土木學科第十回　四十二名

綾田 耕太郎（香 川）　伊藤 芳夫（岐 阜）
×小澤 二郎（岐 阜）　落合 博（三 重）
小泉 富治（長 野）　坂本 多喜男（佐 賀）
下井 重三郎（三 重）　鈴木 新平（靜 岡）
稻田 五味三（福 岡）　岡崎 美景（高 知）
菅 親太（愛 媛）　菊岡 武男（三 重）
齋藤 政善（栃 木）　×坂下 永次郎（三 重）
杉森 次郎（三 重）　鈴木 正（靜 岡）
谷口 末雄（三 重）　田端 清男（三 重）
長谷川 義意（福 島）　廣谷 昇（大 阪）
古川 俊良（滋 賀）　牧 勇（大 分）
森島 美雪（岐 阜）　八尋 秀一（福 岡）
吉田 文治（福 岡）
伊藤 美之（三 重）　海老名 慶一（靜 岡）
川井 宏（靜 岡）　久保田 章（福 島）
佐々木 合藏（秋 田）　島地 與一（三 重）
鈴木 敏雄（靜 岡）　高津 明（愛 知）

田中 善喜（福 岡）　（舊戸村）樋口 守（栃 木）
中村 茂男（鹿兒島）　西口 一雄（大 阪）
長谷川 次雄（群 馬）　東 次男（熊 本）
古 正夫（三 重）　堀部 勇（岐 阜）
正木 義夫（兵 庫）　松原 義雄（岐 阜）　×
柳澤 榮助（長 野）　矢野 進（宮 崎）
余語 伊三郎（愛 知）　吉井 勘一（滋 賀）

農業土木學科第十一回　四十名

安藤 重郎（群 馬）　×井手 朋德（熊 本）
石田 英二（福 岡）　岩戸 太郎（廣 島）
岡村 武郎（三 重）　奥山 俊介（三 重）
角田 敬之進（福 岡）　勝野 靜男（三 重）
川崎 祐宏（大 阪）　佐々田 仙（廣 島）
據見 辰治（山 口）　×白井 正義（三 重）
中西 中雄（京 都）　中根 逸夫（三 重）
西田 四郎（三 重）　野間 市郎（愛 媛）
藤本 繼男（熊 本）　藤目 幸作（香 川）
前田 一男（兵 庫）　前田 盛雄（鹿兒島）
×松本 彦吉（秋 田）　毛利 博愛（福 岡）
山崎 安郎（三 重）　山下 茂（靜 岡）
伊藤 士郎（福 井）　石川 丙午郎（茨 城）
宇野 亮夫（福 岡）　越智 鶴一（愛 媛）
大井 守義（三 重）　河合 保（岐 阜）
角前 覓（三 重）　兼本 六二（廣 島）
窪田 博（奈 良）　澤田 重雄（大 阪）
白倉 省吾（山 梨）　高橋 敏郎（靜 岡）

卒業生

卒業生

給田　光義（京　都）　×團野　新次郎（福　岡）
萩原　健一郎（兵　庫）　東　武（福　井）
三室　不二夫（三　重）　水町　進（福　岡）
山田　信一（靜　岡）　横田　柏男（岡　山）

農業土木學科第十二回　三十七名

青山　清（三　重）　梅原　雄一（靜　岡）　出村　友晴（富　山）　波多野修一郎（岡　山）
加藤　豊（福　島）　笠井　利夫（三　重）　福澤　重信（富　山）　又木　武兵衛（鹿兒島）
川端　俊夫（北海道）　川邊　環（三　重）　森田　省三（三　重）　山崎　仁夫（三　重）
紅林　桂次（靜　岡）　近藤　茂男（愛　知）　横田　敏（愛　知）　渡邊　榮藏（秋　田）
坂部　隆治（靜　岡）　杉原　茂（富　山）
中尾　藤九郎（滋　賀）　中田　昌卯（埼　玉）
西澤　英夫（新　潟）　西田　五郎（三　重）　小笠原　忠實（島　根）　小原　清次（石　川）
林　銀司（富　山）　福田　儀三郎（大　阪）　金井　禧三（長　野）　川嶋　武三（三　重）
前田　弘（三　重）　村上　新雄（京　都）　草崎　弘（佐　賀）　×櫛谷　義四郎（三　重）
　　山路　徹（愛　媛）　佐々木　直之（福　岡）　齋藤　爲治（京　都）
　　×清家　初一（大　分）　武内（若田邊）幸信（香　川）　山中　勇（三　重）
　　×中西　光彦（三　重）　中村　逸雄（熊　本）
　　橋口　弘（宮　崎）　花田　通（福　岡）
　　福本　純（三　重）　眞鍋　惠三（香　川）

山中　寅吉（三　重）

農業土木學科第十三回　四十一名

鳴地　辰之助（三　重）　石川　保雄（愛　知）　植田　次郎（靜　岡）　内田　富藏（三　重）
大井　公夫（長　野）　大鹿　茂夫（香　川）　片岡　誠（三　重）　加藤　先一（三　重）
菅野　正世（宮　城）　北山　定一（山　口）　久能　喜祿（靜　岡）　小林　三郎（宮　城）
近藤　比佐雄（愛　知）　佐藤　清（神奈川）　島本　敏男（高　知）　白井　裕（三　重）
芝山　半之烝（三　重）　塘月　茂（大　分）　鈴木　典也（三　重）　征矢　吉郎（長　野）
立石　昌（熊　本）　瀧下　甚五郎（靜　岡）　寺村　幸見（秋　田）　出口　利祐（三　重）
中村　大三（和歌山）　西園　義郎（福　岡）　原　三郎（三　重）　羽根　隆美（德　島）
藤本　正信（德　島）　藤元　宗義（富　山）　二見　晃生（三　重）　朴　衡國（朝　鮮）
松井　辰一（愛　知）　松井　浩（石　川）　松田　修（三　重）　松村　孝一郎（福　井）
又吉　龍榮（沖　繩）　圓子　虎男（宮　城）　森川　正純（三　重）　山中　四郎（三　重）
吉田　壽一（福　岡）

農業土木學科第十四回　三十一名

卒業生

卒業生

荒井　藤次（埼　玉）　×伊　藤　登（三　重）
太田　正隆（京　都）　小野寺長五郎（岩　手）
木村　英夫（岐　阜）　神代　忠正（佐　賀）
小島　保（三　重）　小寺　正夫（佐　賀）
正田　則行（石　川）　菅原　豊一（宮　城）
竹原　生（滋　賀）　富澤彦右衛門（福　井）
永井　幸喜（京　都）　仲田　金次郎（静　岡）
益淵　清秀（鹿兒島）　山家　光次（三　重）

農業土木學科第十五回　三十六名

安藤與惣次郎（滋　賀）　家木　馨（三　重）
今泉　傳（愛　知）　小笠原　勝之（福　岡）
加賀　晃造（秋　田）　倉田　寛一（愛　知）
佐々　力（愛　知）　鈴木　博治（静　岡）
中馬　豊（鹿兒島）　東條　晴明（徳　島）
今久保　守光（高　知）　植松　治夫（山　梨）
角屋　堅次郎（三　重）　神谷　十〆吉（愛　知）
栗原　知郎（三　重）　下司　英一（滋　賀）
後藤　多平（三　重）　佐々木　正（宮　城）
杉平　鐵雄（熊　本）　竹岡　保光（三　重）
鳥谷尾　忠三（三　重）　豊田　修（愛　知）
西村　孝行（高　知）　野澤　大六（愛　知）
鷲野　勲一（兵　庫）

井口　喜芳（岐　阜）　蘇　鐵之進（鹿兒島）
荻野　和夫（三　重）　大石　眞一（静　岡）
兒島　卓司（兵　庫）　坂本　正行（富　山）
高倉　政彦（福　島）　谷　良雄（福　岡）
富田　智（香　川）　豊永　郁夫（長　崎）

中尾　彌三郎（大　分）　中川　徳　郎（三　重）
鍋田　實（富　山）　新納　治（愛　知）
湊口　千代次（和歌山）　村越　重信（神奈川）
山川　正一（岡　山）　山口　七　郎（群　馬）

林學科第一回　二十三名

（舊小西）堀　百太郎（奈　良）　小林　義秀（山　梨）
×佐治　文哉（福　井）　佐藤　佐壽（愛　媛）
鳥林　理英（滋　賀）　關　正三（栃　木）
田村　幸次郎（京　都）　畑　石治（福　岡）
伴　一雄（三　重）　（舊古谷）高田　俊雄（東　京）
松岡　英二（福　岡）　三崎　龍二（三　重）

長渡　具視（宮　崎）　中村　秀（三　重）
西田　義熙（三　重）　林　典男（三　重）
森本　純一（三　重）　八木　善治（兵　庫）
山田　孝一（三　重）　矢野　忠（静　岡）

古屋　武夫（群　馬）　佐賀　五代吉（秋　田）
×四方　公平（京　都）　（舊新保）田島　義二（新　潟）
高津戸　益美（栃　木）　高山　林（兵　庫）
林　鎭雄（東　京）　早藤　昌二（茨　城）
釣　俊一（滋　賀）　松井　英太郎（大　阪）
出口　二三生（三　重）

林學科第二回　三十三名

穴吹　規矩士（香　川）　井田　稅（静　岡）
岡田　廣一（徳　島）　岡野　行雄（和歌山）

卒業生

岩本　二郎（島　根）　石川　利治（東　京）
鷲淵　滿雄（長　崎）　川越　進（宮　崎）

神庭　英（島　根）　木下　義統（鳥　取）
曾根　正孝（富　山）　武田　要（徳　島）
内藤　久一（京　都）　長尾　正和（高　知）
林　　茂（福　井）　原　金一（岐　阜）
逸見　雪夫（岡　山）　本田　親人（宮　崎）
柳井　元一（岡　山）　矢野　登（香　川）
久富　運吉（山　口）　×

林學科第三回　二十五名

安達　瀧雄（石　川）　（舊伊藤）西原　照光（愛　媛）
（舊越智）十河　一吉（愛　媛）　鬼武　幹亮（山　口）
齋藤　市三（三　重）　砂走　正義（鹿兒島）
中澤　和雄（和歌山）　中谷喜久二郎（石　川）
（舊萬濃）中村　秀男（三　重）　溝口　悌次（長　野）
山川　浩太郎（三　重）　湯淺　巖雄（香　川）

本曾　龍雄（廣　島）　佐々木　確治（秋　田）
辰巳　俊吉（奈　良）　附田　文治（青　森）
（舊中村）藪内　當一（徳　島）　中山　利郎（三　重）
深澤　正男（山　梨）　福田　港（熊　本）
松田　愿（山　口）　×松本　幸男（愛　媛）
×山本　二雄（奈　良）　吉本　今太郎（静　岡）

（舊岩山）相澤　宇内（宮　城）　梅原　文夫（大　分）
垣野太圭次郎（三　重）　加藤　嘉藏（奈　良）
田中　巖（京　都）　田部　繁昌（東　京）
濱田　一夫（高　知）　松原　松男（長　野）
森岡　潤吉（高　知）　森倉　良澄（三　重）
大里　喜重（大　阪）　草田　得三（和歌山）

谷口　貢（福　井）

林學科第四回　三十一名

飯田　忠一（奈　良）　井上　源憲（廣　島）
大久保　昌之（石　川）　川滿　惠元（沖　繩）
黒井　良勝（東　京）　小久保　壽（愛　知）
三枝　壽雄（兵　庫）　佐藤　三郎（秋　田）
高橋　渡（高　知）　田代　純（兵　庫）
（舊中川）佐々木　重雄（京　都）　（舊馬場）山田　瑞穗（福　岡）
滿谷　五三（岡　山）　村上　章（愛　知）
和田　忠之亮（三　重）　黒岩　實（佐　賀）

林學科第五回　二十三名

足立　行夫（岐　阜）　（舊大石）増田　勝治（静　岡）
川口　了（三　重）　川手　治郎（廣　島）
×鈴木　愷（愛　知）　田村　義雄（三　重）

（舊井ノ口）宮崎　三郎（三　重）　臼井　茂（山　形）
片山　佐又（香　川）　國田　廣實（愛　媛）
小瀧　武夫（福　島）　後藤　旭（愛　知）
（舊壇川）笹栗　三二（福　岡）　白勢　修（新　潟）
立川　全夫（静　岡）　因　秀成（福　岡）
松島　盛大（三　重）　（舊三達）×牛田　雲平（三　重）
森田　宿禰（長　崎）　山本　市兵衛（奈　良）
後藤　鋼（愛　知）

×大辻　利勝（奈　良）　小木曾善三郎（愛　知）
小池　敏夫（島　根）　鈴木　平治（福　島）
坪坂　博（大　分）　中島　海老藏（京　都）

卒業生

中谷　邦武（岐　阜）　中村　久（三　重）　汎野　陽一（愛　知）　西井　伊兵衛（三　重）
（舊野本）鷹巣　傳（福　岡）　×服部　正直（三　重）　平野　利一（和歌山）　深谷　亮治（岐　阜）
福島　昇（福　井）　光普江左右吉（高　知）　森　三郎（佐　賀）

林學科第六回　三十七名

阿部　駒一（三　重）　石井　英男（和歌山）　上原　正敏（長　崎）
小穴　信一（長　野）　桶野　良助（長　野）　金田　友惠（福　島）
願興寺　竹男（三　重）　北川　孝三（三　重）　木根　陽三（和歌山）
倉田　喜太郎（三　重）　×近藤　勇（三　重）　杉本　榮之亟（三　重）
杉森　一郎（三　重）　高野　光衛（長　野）　中村　繁一（香　川）
中村　丈夫（兵　庫）　中村　道孝（宮　崎）　西川　正信（愛　媛）
野中　淳治（三　重）　橋詰　敏夫（高　知）　逸見　芳夫（神奈川）
前川　勝巳（三　重）　松山　幹之（滋　賀）　梁田　增次郎（秋　田）
村山　金重（福　岡）　山本　安秋（香　川）　吉村　寛逸（佐　賀）
平島　直村（宮　崎）　×横山　義雄（福　島）

（彌右衛門改名）伊藤　森夫（愛　媛）
片岡　七夫（三　重）
（舊木津）北條　進（新　潟）
杉浦　文夫（愛　知）
伊達　覺一（廣　島）
（舊長谷川）倉田　了（三　重）

林學科第七回　三十一名

今津　新太郎（岐　阜）　（舊梅田）北出　德藏（三　重）
岡森　清治郎（三　重）　大塚　一太（熊　本）
（舊尾崎）岩崎　芳一（東　京）　加藤　清（三　重）
酒井　源一（愛　媛）　（舊佐々木）鈴木　清吉（岩　手）
×田中　俊次（三　重）　（舊近澤）千川　武生（三　重）
永田　重道（三　重）　×八藤　松男（岡　山）
藤田　修一（岡　山）　本多　泰（愛　知）
吉田　泰治（新　潟）　若林　二郎（岡　山）

林學科第八回　三十七名

×赤尾　國三郎（岐　阜）　秋根　昌勝（福　岡）
岩本　勝美（鹿兒島）　上平　達雄（奈　良）
清末　文雄（大　分）　桐山　寬治（東　京）
徳森　榮一（鹿兒島）　攝入　利雄（長　野）

卒業生

岡　磯吉（和歌山）　岡野　三十四（三　重）
大西　二郎（高　知）　大野　靜（愛　媛）
小紫　清平（兵　庫）　小林　米藏（三　重）
田上　一生（三　重）　田中　孝雄（佐　賀）
栢植　隆一（三　重）　×長澤　一雄（山　口）
廣部　誠自（三　重）　福田　利雄（岡　山）
松本　政一（三　重）　宮田　俊雄（三　重）
勝部　忠治（島　根）

（舊石黑）海野　祐三（富　山）
（舊尾島）池上　憲清（富　山）
佐久間　利秋（三　重）
×杉山　今吉（愛　知）

池知　一水（高　知）
（孝夫改名）榎本　容久（和歌山）
駒田　守（三　重）
（舊上甲）土居　久雄（愛　媛）

卒業生

砂原　英治（鳥　取）　竹口　昇（三　重）　富永　清次（佐　賀）　中井　吉人（三　重）
野田　忠士（三　重）　×深田　安次郎（富　山）　藤本　芳郎（三　重）　細野　三郎（滋　賀）
松浦　進（宮　崎）　×宮石　又男（愛　知）　村田　義一（三　重）　森　孝（三　重）
柳瀬　友正（愛　媛）　矢仁田　恒義（熊　本）　矢野　喜久男（福　岡）　×矢野　次雄（廣　島）
伊藤（舊矢野）　磐榮（兵　庫）　山本　仁郎（新　潟）　山脇　茂（京　都）　宇津　英一（島　根）
佐藤　康吉（山　形）

林學科第九回　二十九名

石原　博（富　山）　石原　幹雄（熊　本）　上杉　順二郎（三　重）
岡田　春博（高　知）　小澤　貢（佐　賀）　工藤　麟治（宮　崎）
倉田　三千穗（長　野）　齋藤　澄雄（山　形）　高橋　健男（大　阪）
田川（武一改名）　剛士（三　重）　武田　龍雄（三　重）　戸田　唯美（廣　島）
飛岡　善三郎（鹿兒島）　×中川　繁夫（廣　島）　西川　光夫（長　崎）
西村　敏雄（京　都）　根本　庄三郎（茨　城）　本郷　卓爾（岡　山）
松尾　武治（福　島）　八代　雄藏（山　梨）　山本　熊男（和歌山）
伊東　誠衛（三　重）
川本　達四（廣　島）
須川　清一郎（三　重）
淡輪　銳一（福　岡）
×中村　熊太郎（三　重）
鎧右近　英夫（石　川）
山崎　孝雄（高　知）

吉開　幸夫（福　岡）

林學科第十回　三十九名

赤田　長生（香　川）　阿部　喜美治（山　形）　（舊池田）奥田　三一（靜　岡）　市川　守信（高　知）
岩間　孝一（三　重）　上野　經彥（鹿兒島）　岡本　利文（兵　庫）　大上　利宏（大　分）
太田垣　正三（兵　庫）　大伸　保（愛　媛）　大森　三孝（福　井）　梶原　高雄（熊　本）
（舊加藤）白石　喜久（福　岡）　川岸　修（奈　良）　×河津　久伍（熊　本）　小寺　博文（大　分）
近藤　學（福　岡）　佐方　久敏（熊　本）　佐藤　滿（熊　本）　下川　忠藏（福　岡）
菅沼　謙逸（愛　知）　竹内　久米雄（三　重）　中澤　高司（靜　岡）　野田　晴男（島　根）
野中　忠美（愛　媛）　檜山　慶三郎（三　重）　平山　貞（大　分）　廣部　正二（三　重）
（舊古川）水谷　生夫（三　重）　古川　壽（岡　山）　町田　榮二（埼　玉）　松岡　了三（福　岡）
松本　繁平（靜　岡）　三木田　武三郎（大　阪）　水谷　信夫（三　重）　宮本　毅（熊　本）
明慶　三郎（三　重）　森本　智二郎（兵　庫）　米川　千秋（三　重）

林學科第十一回　三十五名

淺野　一正（三　重）　伊東　耕之助（佐　賀）　池内　悅雄（愛　媛）　磯野　英一（兵　庫）

卒業生

稻田正彦（三重）　上野丞市（三重）　上本英一（三重）　小河吉春（福岡）
大内賢一（岡山）　北村智（長崎）　佐久間虎夫（三重）　佐藤信雄（山形）
杉本正郎（三重）　×鈴木英勇（静岡）　關口一郎（埼玉）　田川恒夫（三重）
田村甲二（岡山）　高垣左藤（和歌山）　武政健亮（高知）　谷口樹男（廣島）
谷（敏夫改名）甚四郎（奈良）　塚本泰三（兵庫）　×辻種藏（滋賀）　長井實博（鹿兒島）
中込登（山梨）　林秀茂（奈良）　牧野新太郎（滋賀）　宮口茂次（福井）
宮本弘（愛知）　村田喜一（熊本）　柳澤聰雄（兵庫）　山田孝俊（石川）
吉田末雄（福岡）　和田秀雄（神奈川）　渡邊正元（長崎）

林學科第十二回　三十七名

石橋正夫（三重）　稻垣禮一（三重）　大勝正男（滋賀）　大島民也（愛知）
甲藤良道（高知）　金田三郎（富山）　鴨下正夫（北海道）　金鶴奭（朝鮮）
小林茂（岡山）　古林牧夫（福岡）　×小山貞信（奈良）　今文平（青森）
今野弘一（宮城）　齋藤全弘（德島）　芝弘（三重）　城山正彦（三重）
田中忠夫（長野）　田中璞（兵庫）　高橋隆（三重）　高橋正夫（島根）

（舊土肥）平山恒成（富山）　豊福義孝（福岡）　長尾万二（德島）　行方實（三重）
西内弘至（高知）　平田義一（滋賀）　×藤原福次（岡山）　古川不倒（福岡）
堀内信男（長野）　卷田源久（石川）　御幸尾博（千葉）　三好茂（岐阜）
宮田辰男（長野）　山際俊郎（三重）　山口市治（長崎）　山田鐵次郎（岐阜）
若林猛（三重）

林學科第十三回　三十六名

石井正巳（山梨）　石川務（福井）　伊藤昌（秋田）　右手敏夫（岡山）
岡部正雄（三重）　勝間田興衛（静岡）　小島重弘（愛知）　後藤新平（岐阜）
小林恒夫（岡山）　柴田仁夫（岐阜）　下平仁（長野）　園浦和巳（三重）
高木徹郎（熊本）　七條（舊高橋）滋（三重）　寳田豊治（秋田）　武内俊一郎（高知）
田口吉三郎（秋田）　中曾根武夫（群馬）　中野五郎（福岡）　長谷川文平（新潟）
針田實（石川）　半澤青一（宮城）　福島一（三重）　藤川巖（岩手）
星野重一（三重）　松島敏夫（三重）　前田英（高知）　宮下顯保（長野）
美山守生（福岡）　森口重男（三重）　森脇勁（島根）　八木辰夫（静岡）

卒業生

安永利政（福岡）　柚久保久志（三重）

林學科第十四回　四十二名

阿南大介（大分）　池澤宗一（三重）　米倉隆夫（宮城）　沖田萬年（兵庫）
伊藤正人（宮城）　井上幹夫（島根）　石次幸雄（石川）　磯部富士雄（山口）
植山保（香川）　大石傳次（静岡）　小川正則（茨城）　尾崎正次（三重）
小野田元正（東京）　各務健三（岐阜）　岸本喜久二（長野）　古賀清美（福岡）
今田正三郎（山形）　財滿勝壽（山口）　清水俊樹（高知）　鈴木光太郎（秋田）
武居岳夫（長野）　寺司益三（大分）　中西秀一（奈良）　西田嘉一（奈良）
根垣迪郎（京都）　信清成功（高知）　原田辰丙（愛知）　原田恒治（愛知）
林一（三重）　林市（愛知）　藤井幸人（山口）　藤本義隆（福岡）
牧野弘（長野）　宮本潤（和歌山）　名德幸藏（富山）　武藤博（北海道）
村田藤橘（三重）　山口岩介（高知）　山本尙政（石川）　吉岡熹（高知）
李聖仁（朝鮮）　巽正斌（三重）

林學科第十五回　三十八名

赤田龍三（滋賀）　淺野正雄（宮城）　石松留男（大分）　古部武之（廣島）
小澤一男（埼玉）　奥山藻（三重）　大久保米二（長崎）　郷司義清（大分）
梶原健之（熊本）　木村勤（廣島）　公文正憲（高知）　小林國雄（東京）
齋藤諄太（山形）　佐川義典（茨城）　佐々木德三郎（秋田）　佐藤謙太郎（岩手）
洲濱實市（島根）　高橋邦三（和田）　把田光三（廣島）　玉田茂和（大阪）
中村辰郎（山口）　那須秀雄（和歌山）　西岡巖（高知）　西隆夫（三重）
初田敏人（滋賀）　長谷川成男（愛知）　藤田清次（佐賀）　古市貢（三重）
星澤正男（宮城）　松浦美男（岐阜）　三村巖（山口）　森西猪之吉（奈良）
山崎岩男（三重）　山本四郎（山口）　吉田勞男（神奈川）　吉岡俊彥（高知）
李栽洙（朝鮮）　薛茂先（滿洲國）

農村工業實科第一回　二十九名

相川清衛（長崎）　雨宮治（山梨）　有本强（岡山）　井口重夫（京都）
石井健三（長野）　井上圓之助（滋賀）　植村榮（三重）　大岩英雄（愛知）
川口廣巳（三重）　河野昌龍（大分）　木內泰次郎（長野）　近藤房實（高知）

卒業生

撫野松司（長野）　柴山元隆（富山）　鈴木正義（靜岡）　多氣善一郎（京都）
武内爲雄（大分）　中村正五（千葉）　名越成夫（三重）　福浦保（三重）
藤田清一（三重）　藤原光雅（山梨）　前島柏（兵庫）　水谷好平（三重）
宮地能登治（佐賀）　森山榮壽（山形）　山上四郎（愛媛）　山口清（三重）
山田廣一（山梨）

農學科選科

▲大正十五年三月修了　×別處初幸（愛媛）　野村安衛（岐阜）
▲昭和二年三月修了　×今井武（三重）
▲昭和二年四月修了　花谷郁（三重）
▲昭和四年三月修了　平井宏（大阪）
▲昭和七年三月修了　塚田英夫（千葉）
▲昭和八年三月修了　齋藤小吉郎（三重）　瀧山嚴（大阪）
▲昭和十一年三月修了　黑瀨大二郎（三重）
▲昭和十二年三月修了　大西謙二（三重）　北川直久（三重）
▲昭和十三年三月修了　柏木禎太郎（和歌山）

農業土木學科選科

▲大正十四年三月修了　山本三千三（三重）
▲大正十五年三月修了　石田巖（三重）
▲昭和六年三月修了　王家麟（滿洲國）
▲昭和八年四月修了　加藤積（山梨）
▲昭和十年三月修了　宮田正次（愛媛）
▲昭和十二年三月修了　鈴木孝（三重）　中村麟太郎（鹿兒島）　村木照雄（三重）

林學科選科

▲大正十五年三月修了　日野雅亮（長野）
▲昭和五年三月修了　小林英生（三重）
▲昭和十二年三月修了　堀江新次（和歌山）（舊海瀨）　永杉巖（福井）

二、卒業生年度別數

年次＼學科	本科 農學科	農業土木學科	林學科	選科	農村工業實科	合計
大正十四年	二八	二八	二三	一		八〇
大正十五年	三五	二八	三三	四		一〇〇
昭和二年	二九	三六	二五	二		九二
昭和三年	二七	三二	三一			九〇
昭和四年	三二	三一	二三	一		八七
昭和五年	三九	三六	三七	一		一一三
昭和六年	三九	三六	三一	一		一〇七
昭和七年	三九	四〇	三七	一		一一七
昭和八年	三五	三九	二九	三		一〇六
昭和九年	四二	四二	三九			一二三
昭和十年	四〇	四〇	三五	一		一一六
昭和十一年	三七	三七	三七	二		一一二

昭和十二年	四二	四一	三六	七		一二五
昭和十三年	四〇	三一	四二	一	一四	一一四
昭和十四年	三八	三六	三八		二九	一四一
合計	五四一	五三三	四九六	二四	二九	一、六二三